Endeavor MT9000

ユーザーズマニュアル

Windows 7

電子の情報もご覧ください

PCお役立ちナビ p.4

コンピューターの操作方法や、トラブル時の対処方法など、本機に関する情報を簡単検索できるサポートツールです。
デスクトップ上のアイコンから起動します。

ご使用の前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みください。
- 「マニュアル」は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

情報マップ（知りたい情報はどこにある？）

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。

※ Windows XP の場合は、ダウングレードモデル用別冊子をご覧ください。

やりたいこと

購入時

- 本機の添付品を知りたい p.8
- Windowsをセットアップしたい p.18
- 添付されているソフトウェアを知りたい p.84
- 本機を設置したい p.10
- 本機の仕様を知りたい p.86

使いはじめ ～ 使いこなしたいとき

- インターネット/メールをしたい
- Windowsの操作方法を知りたい
- 用語を調べたい
- ソフトウェアの操作方法を知りたい
- 周辺機器（プリンター、デジタルカメラなど）を使いたい

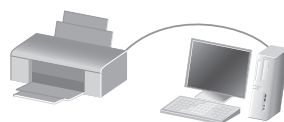
- オプション製品（キーボード、マウス、拡張ボード、ソフトウェアなど）を使いたい

- 装置を増設したい（拡張ボード、5.25型ドライブ（光ディスクドライブ）、3.5型ドライブ（HDD））

- CD/DVDを使いたい

- セキュリティー設定をしたい

- サウンドの設定をしたい

- 画面表示の設定をしたい
- BIOSの設定を変更したい
- HDD領域を変更したい
- 消去禁止領域のデータをバックアップしたい
- USB機器を接続したい

- メモリーを増設したい p.27
- 再インストール（リカバリー）をしたい p.39
- データをバックアップしたい p.45

困ったとき

- トラブルを解決したい p.59
- システム診断をしたい p.79

故障したとき

- サポート・サービス情報を知りたい
- 修理を依頼したい

紙マニュアル
紙で添付されている情報です。

PC お役立ちナビ
コンピューターの画面で見る電子の情報です。

情報の場所

『ユーザーズマニュアル』（本書）

［お役立ち］

［マニュアルびゅーわ］ー「オプション製品のマニュアル」

［マニュアルびゅーわ］ー「ユーザーズマニュアル 補足編」

『ユーザーズマニュアル』（本書）

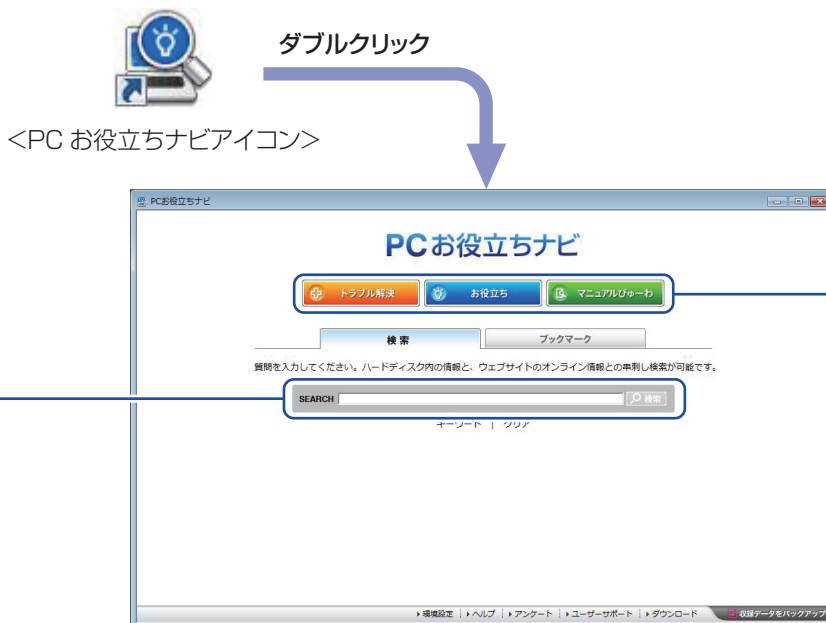
［トラブル解決］

『サポート･サービスのご案内』

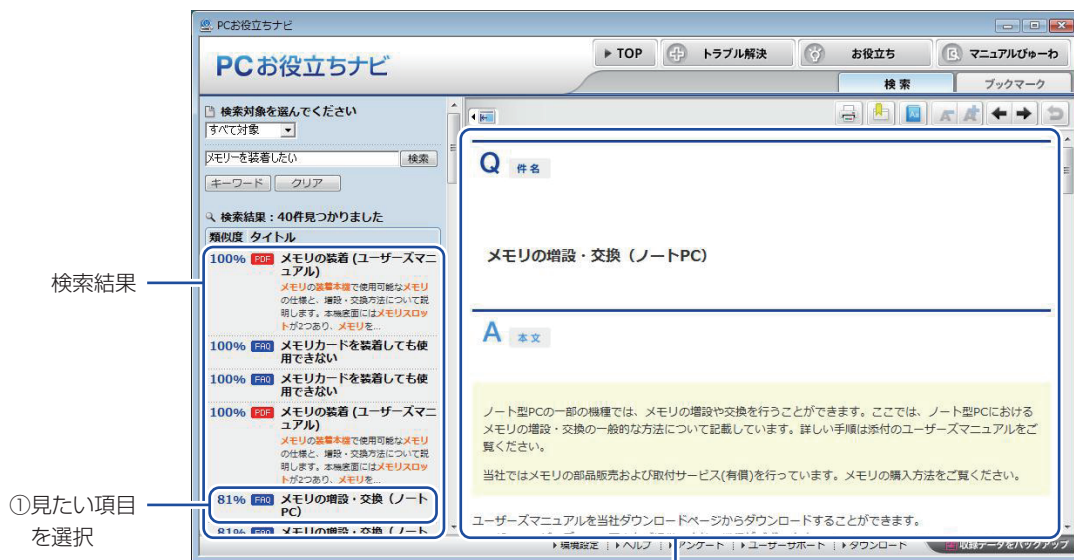
PCお役立ちナビ p.4

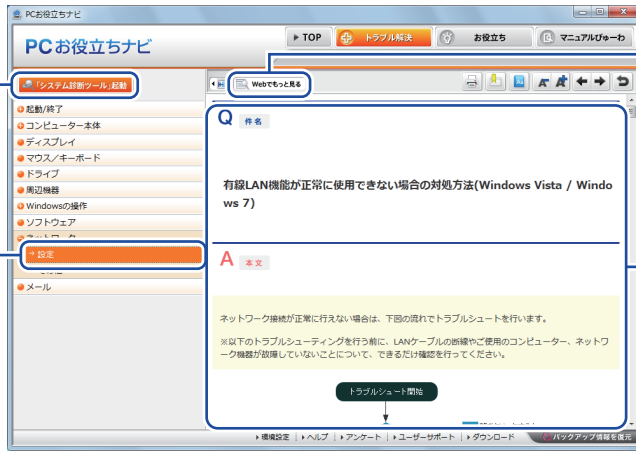
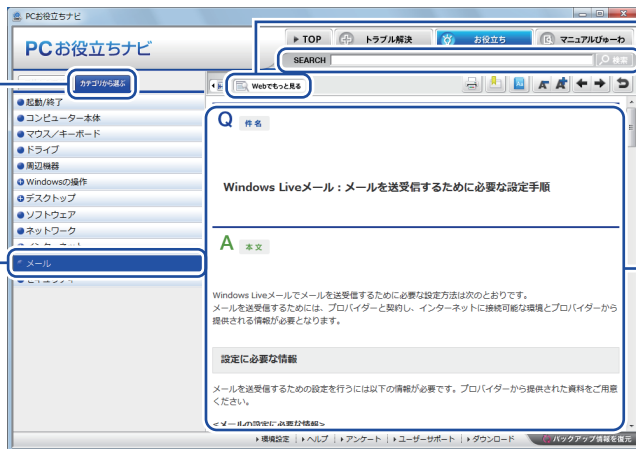
知りたい情報はこれで検索！ PCお役立ちナビ

本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PCお役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。

※ Windows XPの場合は、サポートツール「インフォメーションメニュー」をお使いください。

① 検索をする

TOPページから検索実行 → 本機に収録されている情報＋ユーザーサポートページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報＝サポートコンテンツ・マニュアル（PDF）・ヘルプなど
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。

② おすすめコンテンツ･マニュアルを見る

トラブル解決　トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

お役立ち　コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

マニュアルびゅーわ　コンピューターやオプション製品のマニュアル（PDF）を収録しています。

<画面はイメージです>

目次

1 購入時の作業

2 装置の増設・交換

3 ソフトウェアの再インストール

4 困ったときは

付録

購入時の作業

コンピューター購入時の作業について説明します。

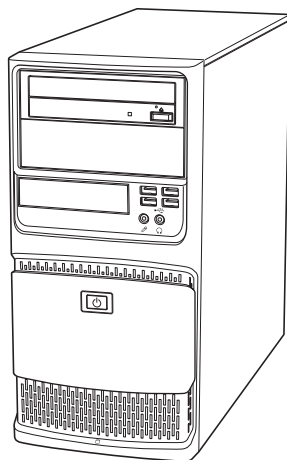
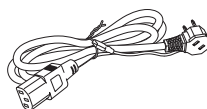
梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足や不良、仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に担当窓口までご連絡ください。詳しくは、別冊『サポート･サービスのご案内』をご覧ください。

保証書について

当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

1 ハードウェアを確認する

ハードウェアがそろっているか、確認してください。

※ このほかにもオプション製品が添付されている場合があります。
　オプション製品は納品書でご確認ください。

2 ディスクを確認する

ディスク類がそろっているか、確認してください。

□ Windows 7 リカバリー DVD

□ リカバリーツール CD

※ 本機のドライバーやソフトウェアのインストール用データは、HDD の消去禁止領域に収録されているため、ディスクは添付されていません。
※ このほかにもオプション製品のディスクが添付されている場合があります。

3 マニュアルを確認する

マニュアル類がそろっているか、確認してください。

冊子マニュアル

□ ユーザーズマニュアル（本書）

□ 安全にお使いいただくために

□ サポート・サービスのご案内

電子マニュアル p.5

□ ユーザーズマニュアル 補足編（PDF）

□ オプション製品のマニュアル（PDF）

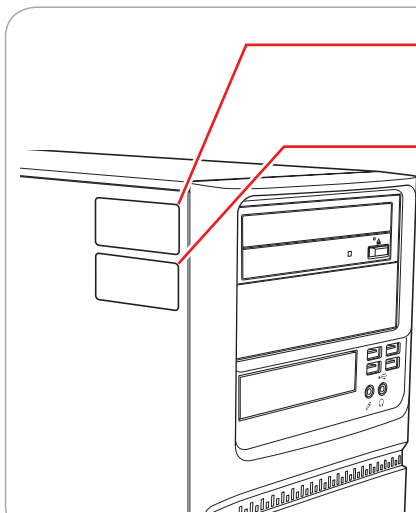
※ このほかにも冊子や電子でマニュアルが添付されている場合があります。

ダウングレードモデル（Windows XP）を選択された場合

本機に Windows XP のマニュアルは添付されていません。ダウングレードモデルについて記載した冊子が添付されていますので、そちらを必ずお読みください。
サポートツール「インフォメーションメニュー」－「サポート情報検索（Web）」にも Windows XP の情報を掲載しています。

4 貼付ラベルを確認する

本機に貼付されているラベルを確認してください。

制限 ラベルは絶対にはがさないでください。

コンピューターを設置する

本機を設置し、使用できる状態にする手順を説明します。プリンターなどの周辺機器は、Windows のセットアップ後に接続してください。

設置における注意

注意

- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。
  通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。設置の際は、次の点を守ってください。
  - 押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
  - じゅうたんや布団の上に設置しない。
  - 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

各種コード（ケーブル）接続時の注意

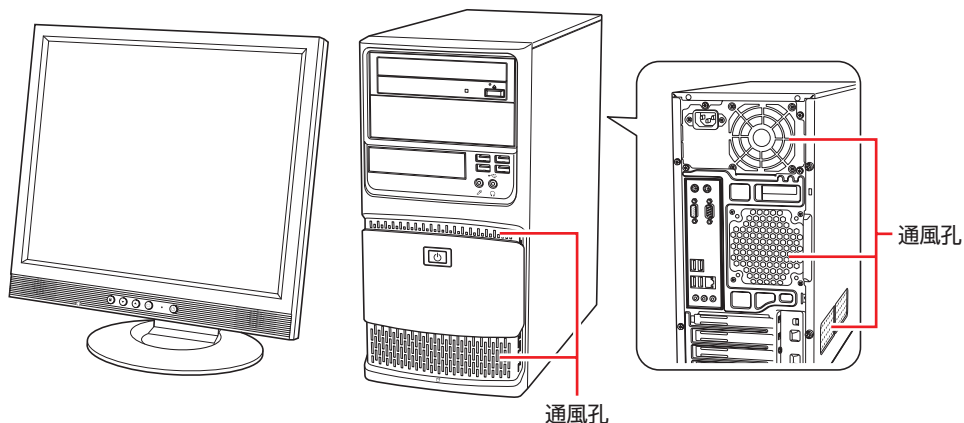
警告

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流 100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
  - 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  - 電源プラグは刃の先まで確実に差し込む。

注意

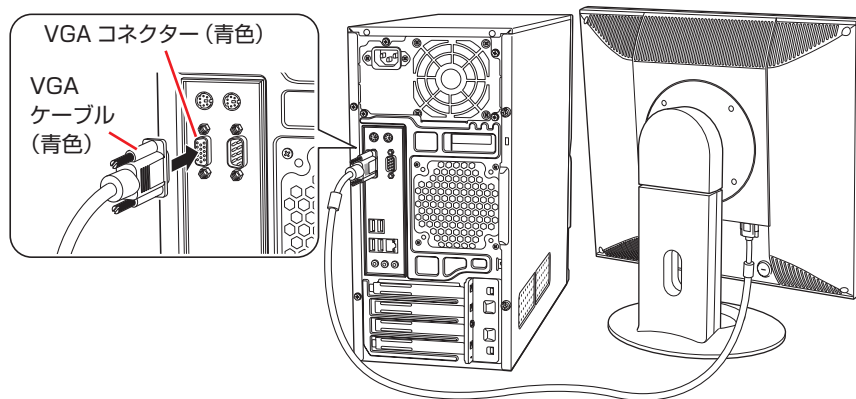
各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、火災の危険があります。

1 **本機とディスプレイを設置場所（丈夫で水平な台の上など）に置きます。**

本機は横置きで使用できません。必ず縦置きで使用してください。
通風孔をふさがないように設置してください。

2 ディスプレイのケーブルを本機背面の該当するコネクターに接続します。

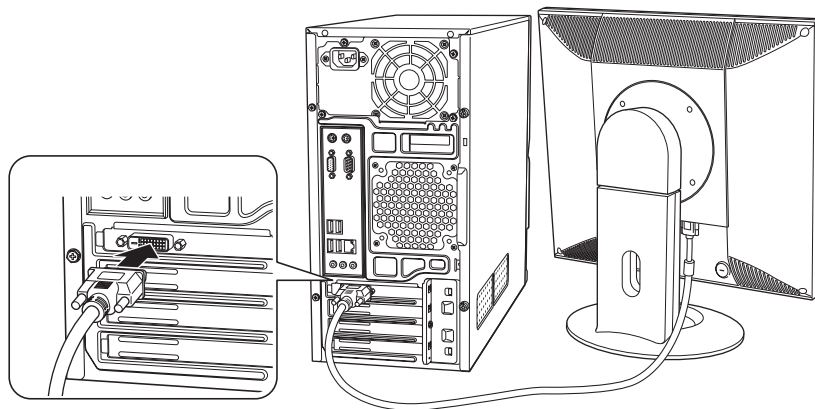
接続時は、ディスプレイに添付のマニュアルも合わせてご覧ください。

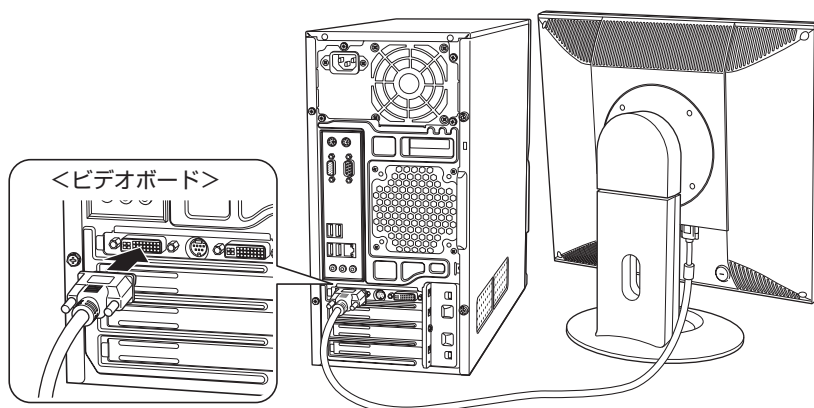
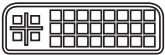
通常の場合（DVI ADD2 ボードやビデオボードが装着されていない場合）

ディスプレイの VGA ケーブルを本機の VGA コネクターに接続します。
画像がアナログ出力されます。

拡張スロットにビデオボードが装着されている場合、本機の VGA コネクターにディスプレイを接続しても、画面表示されません。ディスプレイはビデオボードのコネクターに接続してください。

p.12「ビデオボードが装着されている場合」

DVI ADD2 ボードが装着されている場合

ディスプレイの DVI-D ケーブルを DVI ADD2 ボードの DVI-D コネクターに接続します。
画像がデジタル出力されます。
ディスプレイを 2 台接続する場合は、ADD2 ボードの DVI-D コネクターと、本機の VGA コネクターに接続してください。

ビデオボードが装着されている場合

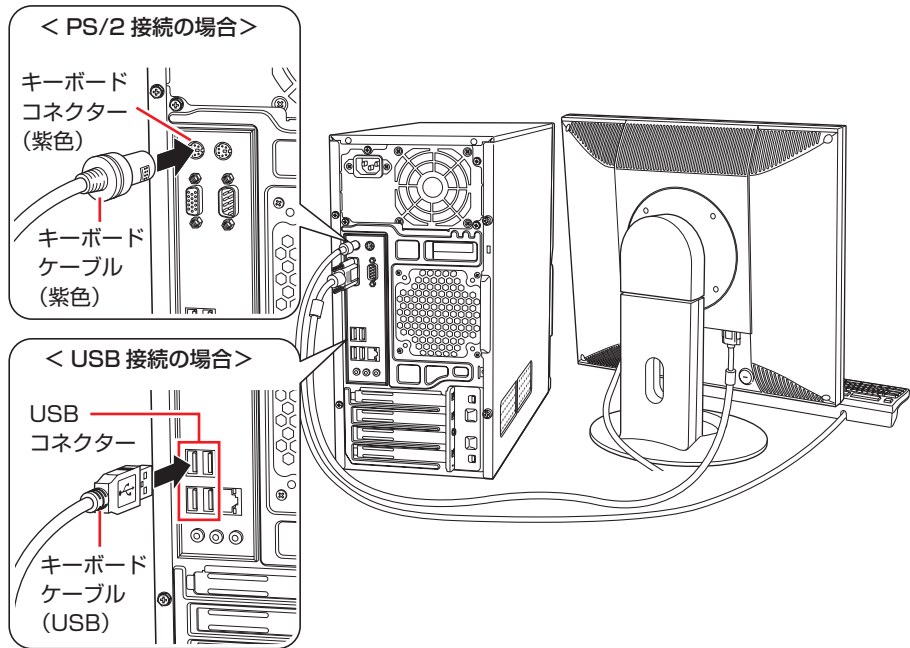
ディスプレイのケーブルをビデオボードのコネクターに接続します。

ビデオボードに搭載されている主なコネクターは次のとおりです。
※ ボードによっては、搭載されていないコネクターもあります。
ディスプレイ 1 台につき 1 本のケーブルを、対応のコネクターに接続してください。
デジタル接続の場合、アナログ接続よりも、画像が鮮明に表示されます。

コネクター形状	コネクター名	使用するケーブル
	VGA コネクター（アナログ）	VGA ケーブル（アナログ）
	DVI-I コネクター（デジタル / アナログ）	● DVI-D ケーブル（デジタル） ● 変換アダプター＋ VGA ケーブル(アナログ)
	HDMI コネクター（デジタル＋サウンド）	HDMI ケーブル（デジタル＋サウンド）
	ディスプレイポート（デジタル）	ディスプレイポートケーブル（デジタル）

※ ボードによっては、上記以外のコネクターが搭載されている場合もあります。
※ ボードによっては、変換用のアダプターが添付されている場合もあります。
※ HDMI コネクターから音声出力するには、音声出力先の設定が必要な場合があります。
　詳しくは『サウンド出力の設定方法』（紙または PDF）をご覧ください。

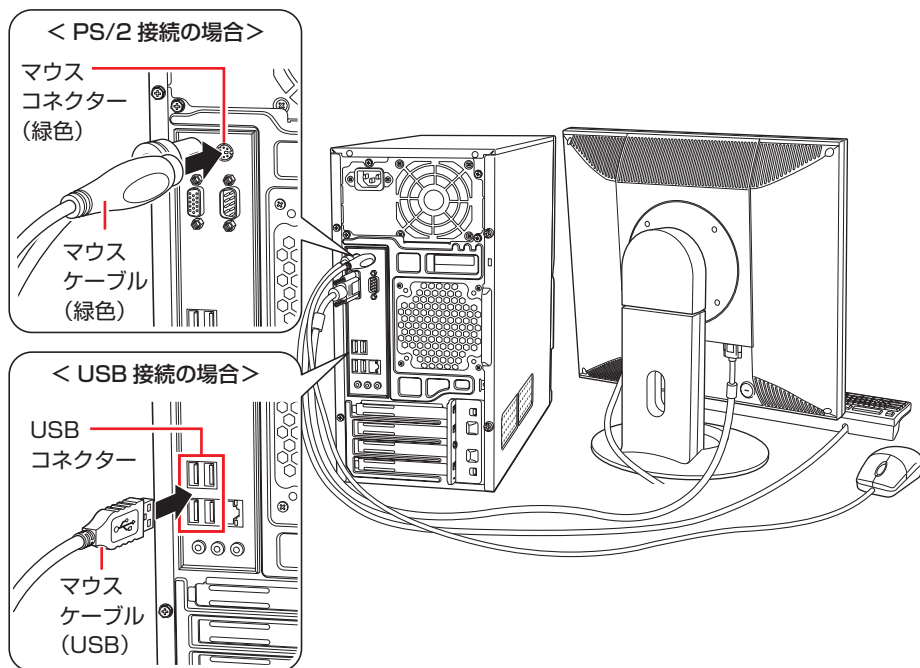
3 キーボードを接続します。

ここでは一般的な接続方法を説明します。

※ コードレスキーボードの場合は、別冊子をご覧ください。

キーボードは操作しやすい位置に置き、傾斜させるときはキーボード底面の両端の脚を起こします。

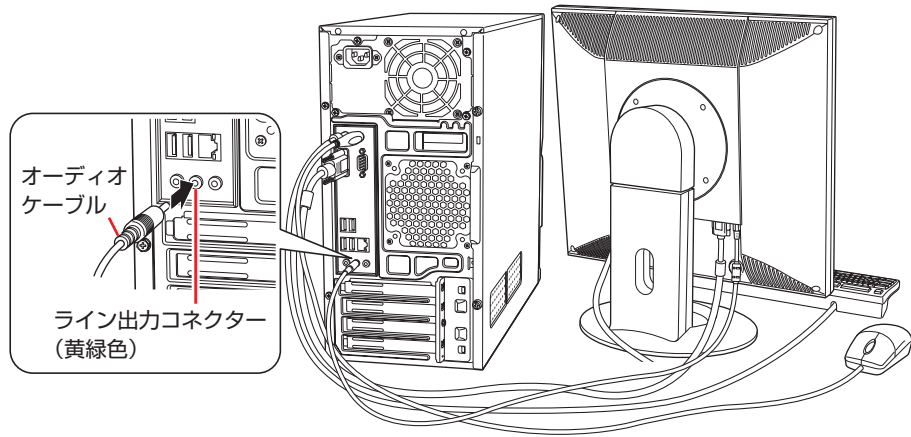
4 マウスを接続します。

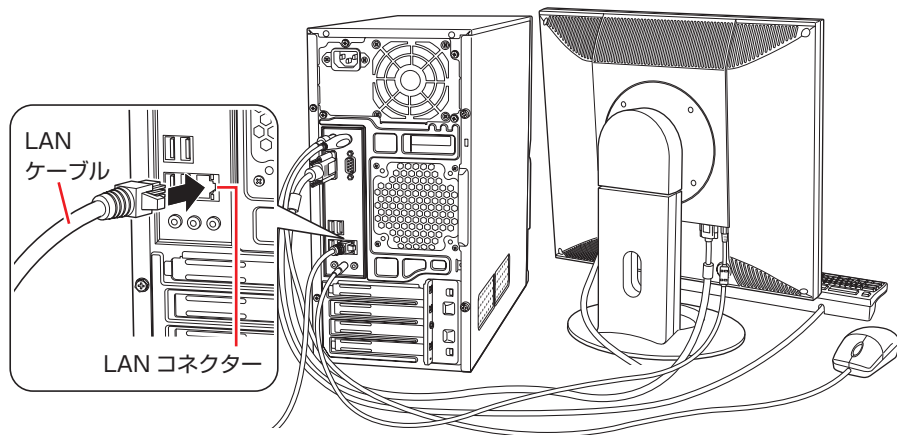
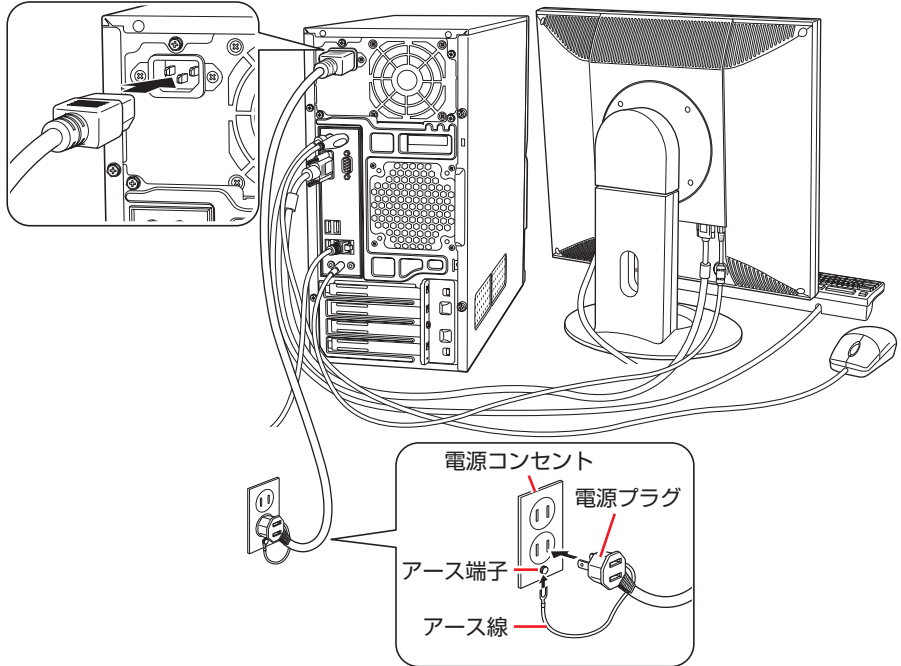
ここでは一般的な接続方法を説明します。

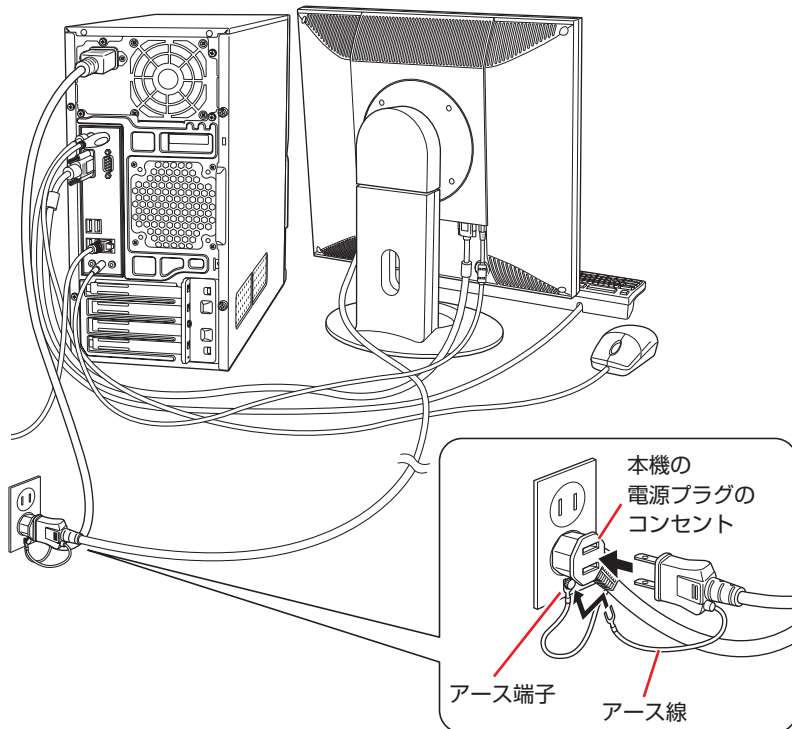
※ コードレスマウスの場合は、別冊子をご覧ください。

制限

本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。

5 **本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力する場合は、ディスプレイやスピーカーのオーディオケーブルを、本機背面のライン出力コネクター（ ）に接続します。**

詳しくはディスプレイやスピーカーに添付のマニュアルをご覧ください。

6 **ネットワークを使用する場合は､市販のLANケーブルを本機背面のLANコネクター（ ）に接続します。**

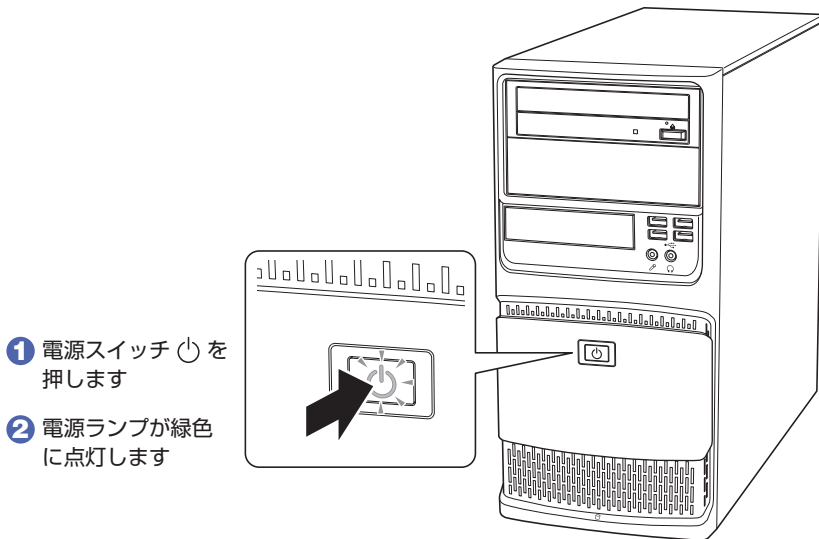
インターネットへの接続作業は、Windowsのセットアップ後に行います。

7 本機の電源コードを接続します。

8 ディスプレイの電源プラグを、**7** で接続した本機の電源プラグのコンセントに接続します。

本機の電源プラグのコンセント（定格 8A）には、コンピューター用ディスプレイ以外の機器を接続しないでください。
発熱し、火災の危険があります。

続いて、Windows のセットアップを行います。

Windows をセットアップする

本機の電源を入れて、Windows を使用できる状態にするまでの手順を説明します。

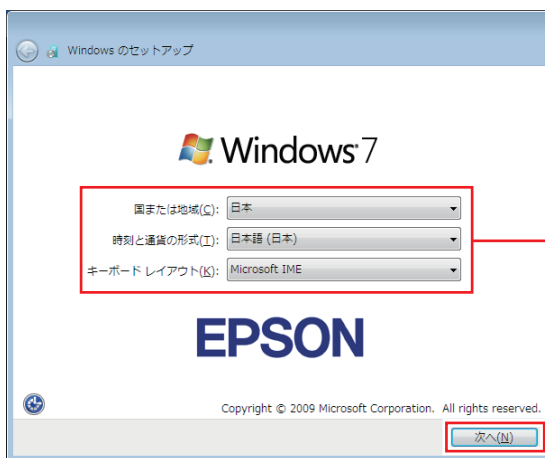
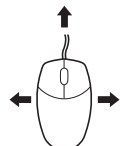
1 ディスプレイやスピーカーなどの電源を入れます。

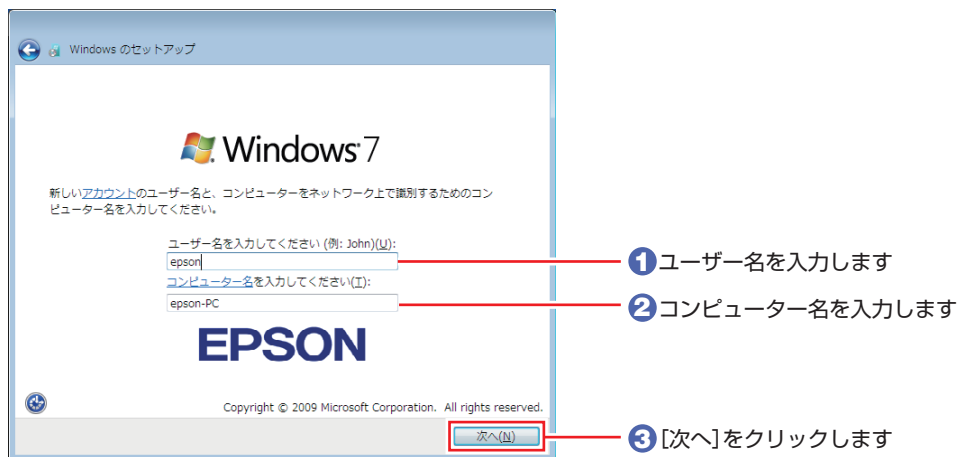
2 本機の電源を入れます。

画面に「EPSON」と表示され、しばらくすると Windows のセットアップ画面が表示されます。

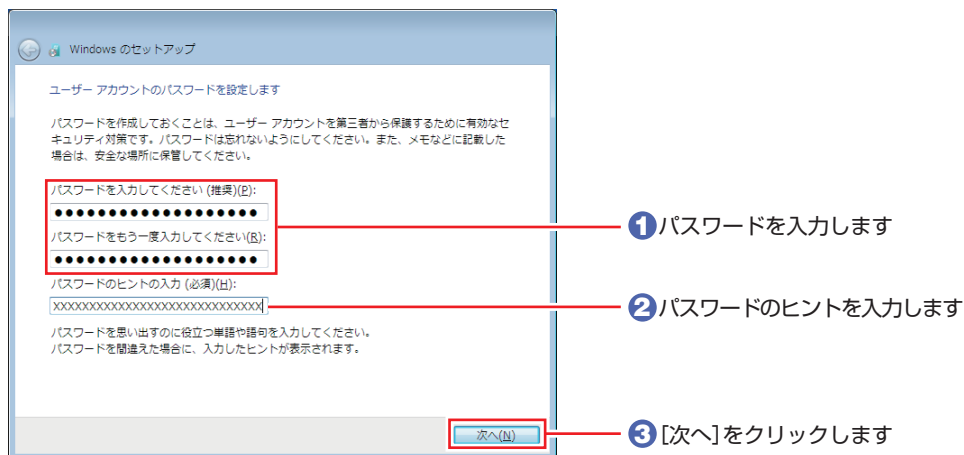
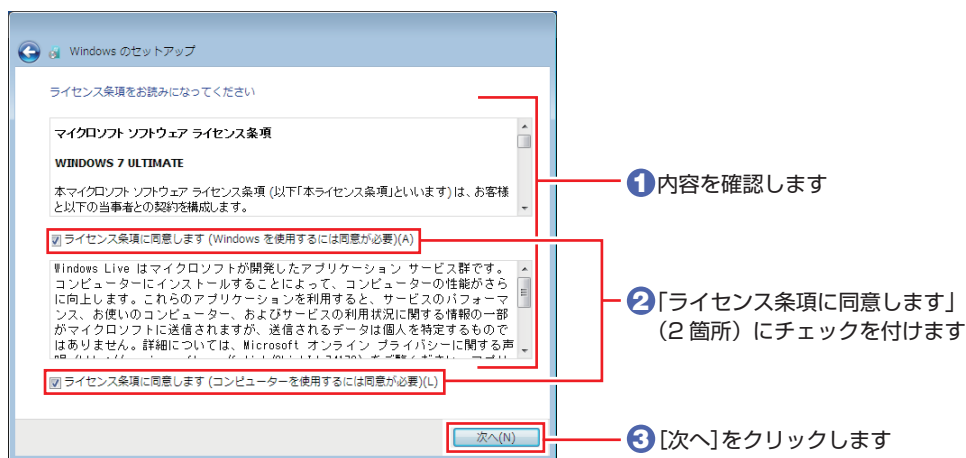
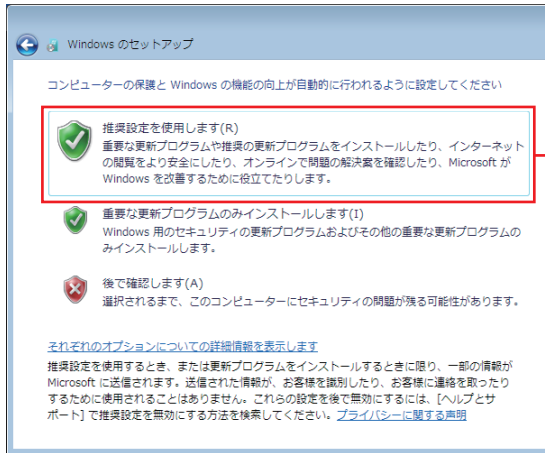
電源が入らないときは

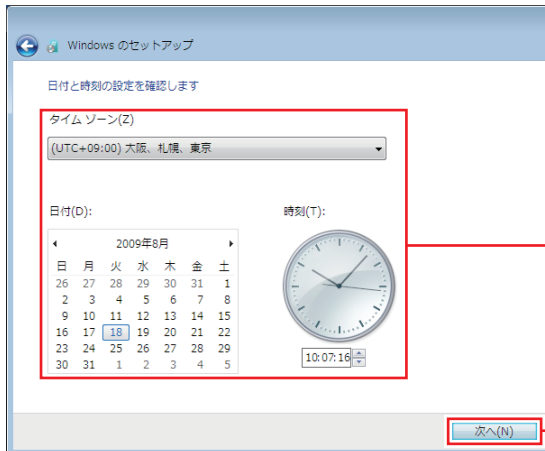
ディスプレイが正しく接続されているか、ディスプレイの電源が入っているか、電源コードが正しく接続されているか確認してください。

3 セットアップを開始します。

セットアップは、マウスを操作して行います。

<イメージ>

4 ユーザー名とコンピューター名を入力します。

<イメージ>

5 任意でパスワードを設定します。

6 ライセンス条項を確認します。

7 更新の設定をします。

「推奨設定を使用します」をクリックします（推奨）

8 日付と時刻を確認します。

❶内容を確認します

❷[次へ]をクリックします

9 ネットワークに接続している場合は、現在の場所を選択します。

場所を選択します

10 デスクトップが表示されます。

<イメージ>

続いて初期設定ツールが起動します。

11 「初期設定ツール」が起動したら、画面に従って画面の設定や、ソフトウェアのインストールを行います。

画面の記載事項はすべてお読みください。スクロールバーのノブを一番下まで移動させて、すべての内容を表示させないと、［次へ］はクリックできません。

<イメージ>

これでコンピューターを使用できます。

続いて、セットアップ後の作業を行います。

●ライセンス認証

購入時に本機にインストールされている Windows や、「Windows 7 リカバリー DVD」から再インストールを行った Windows は、ライセンス認証を行う必要はありません。

●「初期設定ツール」が起動しないときは

初期設定ツールが自動的に起動しない場合や、初期設定ツールを再実行したい場合は、次の場所から起動することができます。

[スタート] ―「すべてのプログラム」―「初期設定ツール」

省電力状態からの復帰方法

本機は、一定時間操作をしないと省電力機能が働いて、画面表示が消えるように設定されています。省電力状態からの復帰は、次の方法で行ってください。

省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源切	点灯（緑色）	マウスやキーボードを操作する
スリープ	点滅（緑色）	●電源スイッチを押す ●USB キーボードを操作する ●USB マウスでクリックする ●PS/2 キーボードの Ctrl ＋ Esc を押す（BIOS の設定が必要です）
休止状態	消灯	●電源スイッチを押す ●PS/2 キーボードの Ctrl ＋ Esc を押す（BIOS の設定が必要です）

Ctrl+Esc で起動する

PS/2 キーボードの Ctrl ＋ Esc で起動するには、BIOS の設定が必要です。
「BIOS Setup ユーティリティー」の次の項目を設定してください。

「Power」メニュー画面―「APM Configuration」
「Power On By PS/2 Keyboard」：Ctrl + ESC

BIOS Setup ユーティリティーの操作方法については、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」―［マニュアルびゅーわ］―「ユーザーズマニュアル 補足編」―「BIOS の設定」

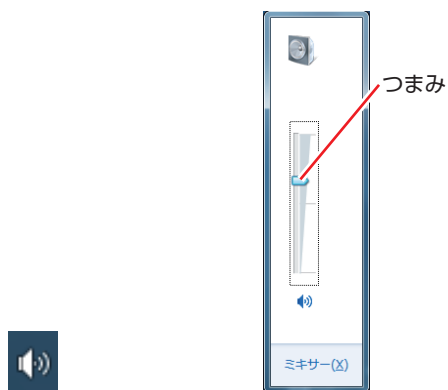
本機では、キーボードの「⏻キー」は使用できません。

セットアップ後の作業

Windows のセットアップと初期設定ツールの設定が完了したら、次の作業を行います。

※ Windows XP の場合は、ダウングレードモデル用別冊子をご覧ください。

音量の調節

Windows 起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の方法で音量を調節します。
画面右下の通知領域に表示されている「スピーカー」アイコン（白色）をクリックすると、「ボリュームコントロール」が表示されます。つまみを上下にドラッグして調節します。

<スピーカーアイコン>

<ボリュームコントロール>

Windowsの操作方法を確認する

Windows の操作方法は、次の場所をご覧ください。

［スタート］－「ヘルプとサポート」

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］

インターネットに接続する

インターネットへの接続は、プロバイダーから提供されたマニュアルを参照して行ってください。

Web ページの閲覧

Web ページの閲覧には、「Internet Explorer」を使用します。
Internet Explorer は、デスクトップ左下のアイコンから起動してください。

<Internet Explorer アイコン>

セキュリティー対策

インターネットに接続する場合は、必ずセキュリティー対策を行ってください。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

「ユーザーズマニュアル補足編」では、以下のセキュリティー機能について記載しています。

●Windows Update

●セキュリティーソフトウェア（マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版）

●Web フィルタリングソフトウェア（i －フィルター 30 日版）

メールの設定をする

電子メールの利用には、「Windows Live メール」を使用します。

Office をインストールしているときは

Office をインストールしている場合は、メールソフト Outlook を使用することもできます。Outlook の使用方法は、Outlook のヘルプをご覧ください。

Windows Live メールの使用方法

Windows Live メールは次の場所から起動します。

［スタート］－「すべてのプログラム」－「Windows Live」－「Windows Live メール」

初回起動時、メールアカウントの設定画面が表示されたら、画面の指示に従ってメールアドレスなどの情報を入力します。必要に応じて、プロバイダーから提供されたマニュアルをご覧ください。
メールアカウントの追加や変更は、Windows Live メールの画面左側「無料・大容量 Hotmail 作成」から行うことができます。

Windows Live メールの詳しい使用方法は、次の場所をご覧ください。

「Windows Live メールのヘルプ」

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］

古いコンピューターからデータを移す

今までお使いのコンピューターのデータ（メールデータやアドレス帳、Internet Explorer のお気に入りなど）を本機へ移す方法は、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－［目的から選ぶ］－「購入後の設定」－「Windows XP / Windows Vista のデータを Windows 7 に転送する」

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照してインストールを行ってください。

周辺機器を接続する

プリンターなどの周辺機器を使用する場合は、周辺機器に添付のマニュアルを参照して接続を行ってください。

Windowsやソフトウェアをアップデートする

Windows やソフトウェアは、アップデートして最新の状態でお使いください。

※ アップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。

●Windows

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、最新の状態になります。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

●ソフトウェア

アップデート方法は、ソフトウェアのヘルプやマニュアルをご覧ください。

システムイメージを保存する

事前にシステムイメージを保存しておくと、なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合、Windows やソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

不具合発生時に回復できるように、システムイメージを保存しておくことをおすすめします。

保存方法は、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「「システムイメージの作成」を使ってバックアップを行う方法」

電源を切る

- HDD などのアクセスランプ点滅中に本機の電源を切ると、収録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機は、電源を切っていても、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 本機が省電力状態や電源を切った状態であっても、マウスによっては底面のランプが光り続けます。これは、お使いのマウスの仕様です。

本機の電源を切る（シャットダウンする）方法は、次のとおりです。

1 **［スタート］－「シャットダウン」をクリックします。**

Windows が終了し、自動的に電源が切れます。

2 **ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。**

シャットダウン時の注意

Windows を複数のユーザーが使用している状態で電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピューターにログオンしています。…」と画面に表示されます。この場合は、［いいえ］をクリックし、ログオンしているすべてのユーザーをログオフしてからシャットダウンしてください。

次回電源を入れるときは

本機の電源を入れる際は、次の点に注意してください。

- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- USB フラッシュメモリーや USB HDD などを接続していたり、USB FDD に FD がセットされている状態で本機の電源を入れると、Windows が起動しないことがあります。USB 記憶装置の接続や FD のセットは、Windows 起動後に行ってください。
  USB 記憶装置を接続した状態で Windows を起動したい場合は、「BIOS Setup ユーティリティー」で起動するデバイスの順番を変更してください。
  変更方法は、『ユーザーズマニュアル補足編』（PDF）をご覧ください。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電気的な負荷を減らして、HDD などの動作を安定させます。
- 本機では、キーボードの「⏻ キー」は使用できません。

装置の増設・交換

装置の増設・交換方法について説明します。

装着できる装置

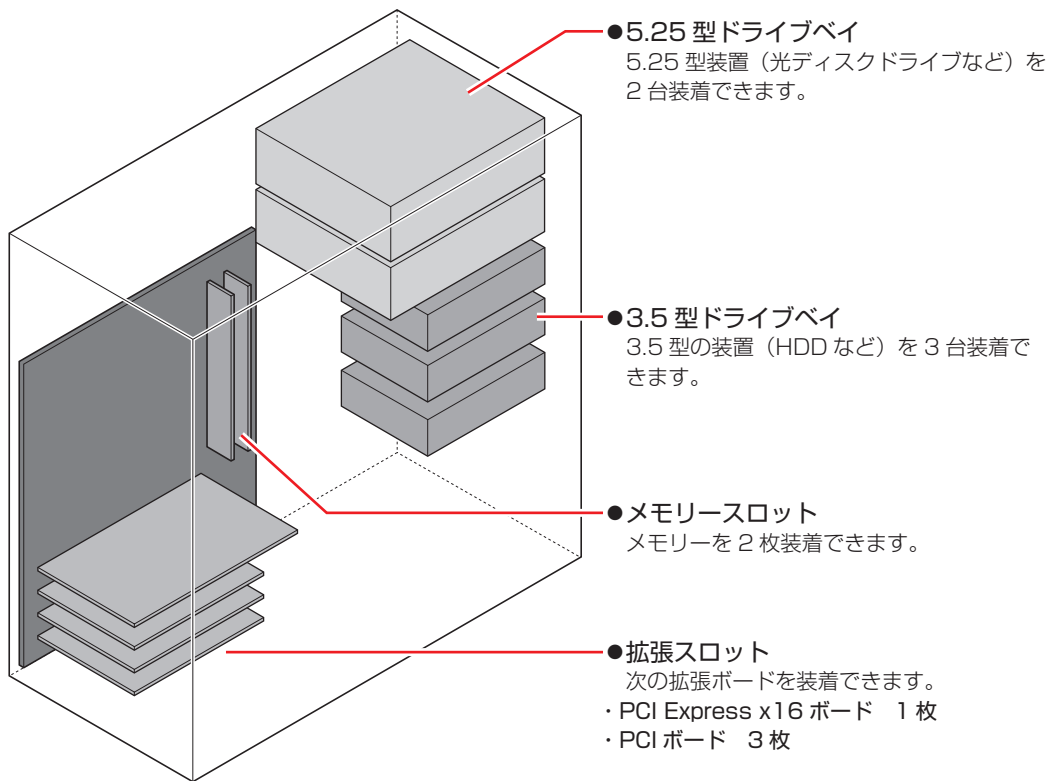
本機では、次の装置を装着することができます。
ただし、購入時の選択によっては、すでにいくつかの装置が装着されているため、増設できる装置の数は異なります。

- マニュアルで方法を記載していない装置の増設・交換は行わないでください。故障の原因となります。
- 本機のマザーボードに搭載されているシリアル ATA コネクターは 4 つです。このため、シリアル ATA 仕様の HDD/ 光ディスクドライブは、合わせて 4 台までの接続となります。

●5.25 型ドライブベイ
5.25 型装置（光ディスクドライブなど）を 2 台装着できます。

●3.5 型ドライブベイ
3.5 型の装置（HDD など）を 3 台装着できます。

●メモリースロット
メモリーを 2 枚装着できます。

●拡張スロット
次の拡張ボードを装着できます。
・PCI Express x16 ボード　1 枚
・PCI ボード　3 枚

装置の装着方法

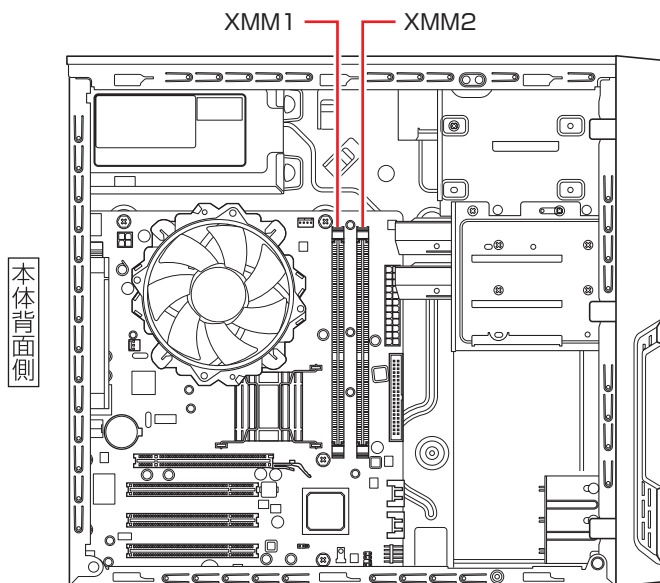
装置の装着方法は、次の場所をご覧ください。

メモリー	p.29「メモリーの装着」
拡張ボード	「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「装置の増設・交換」
5.25 型ドライブ（光ディスクドライブ）	
3.5 型ドライブ（HDD）	

メモリーの装着

本機で使用可能なメモリーの仕様と、メモリーの取り付け・取り外し方法について説明します。
本機にはメモリースロットが 2 本あり、メモリーを最大 4GB まで搭載することができます。

本機に合計 3GB を超えるメモリーを搭載しても、システム上利用できるメモリーの最大容量は約 3GB までです。

マザーボード上のメモリースロットの位置は、次のとおりです。

メモリーの仕様

本機で使用可能なメモリーは、次のとおりです。

- PC3-10600（DDR3-1333 SDRAM 使用）
- メモリー容量　1GB、2GB
- Non ECC
- 240 ピン
- CL=9

最新メモリー情報

今後、新しいメモリーを取り扱う場合があります。
本機で使用可能な最新のメモリーは、当社ホームページでご確認ください。
ホームページのアドレスは、次のとおりです。

http://shop.epson.jp/

メモリー装着の組み合わせ

本機はデュアルチャネルに対応しているため、同一容量のメモリーを２枚１組で装着すると、データ転送速度のパフォーマンスが最大になります。
メモリー装着の組み合わせとメモリーの動作は、次のとおりです。

メモリー装着の組み合わせ	メモリーの動作
同一容量のメモリー２枚	デュアルチャネルで動作。転送速度最大。
メモリー１枚*	通常の転送速度で動作（シングルチャネル）。

*メモリー１枚で使用する場合は、XMM1 スロットに装着してください。

メモリー取り付け・取り外し時の注意

メモリーの取り付け・取り外しをする場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。

- メモリーの取り付け・取り外しをするときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
  電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。
  けがや感電・火災の原因となります。

- メモリーの取り付け・取り外しは、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。
  落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- メモリーの切り欠きとメモリースロット内の仕切りは、確実に合わせてください。
  メモリーの向きを間違うと、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。

- 本機から周辺機器を必ず取り外してください。
- 本機内部のケースや基板には突起があります。作業の際には、けがをしないよう注意してください。
- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。メモリーや本機に静電気が流れると、基板上の部品が破損するおそれがあります。
- 本機内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリーを持つときは、端子部や素子に触れないでください。破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 固定具が確実に閉じていない場合、メモリーがしっかりと固定されていない可能性があります。
  再度、メモリーの向きを確認し、固定具が確実に閉じるまで、しっかりとメモリーを押し込んでください。
- メモリーは落とさないように注意してください。強い衝撃が、破損の原因になります。
- メモリーの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。

メモリーの取り付け・取り外し

メモリーの取り付け・取り外し方法は、次のとおりです。
作業を行う場合は、必要に応じて本機を横置きにしてもかまいません。

取り付け

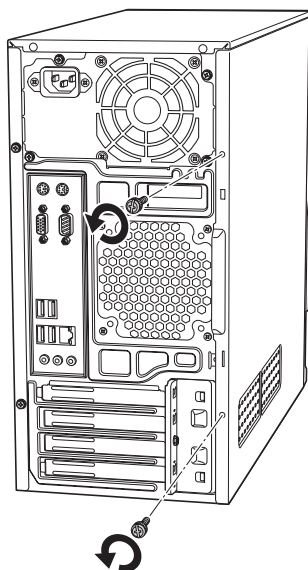
メモリーの取り付け方法は次のとおりです。

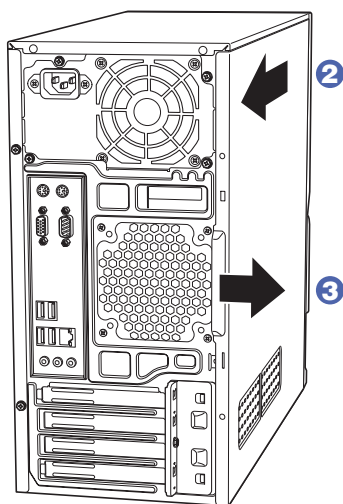
1 本機および接続されている周辺機器の電源を切ります。

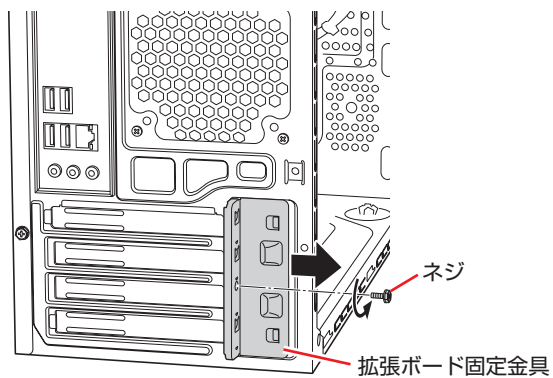
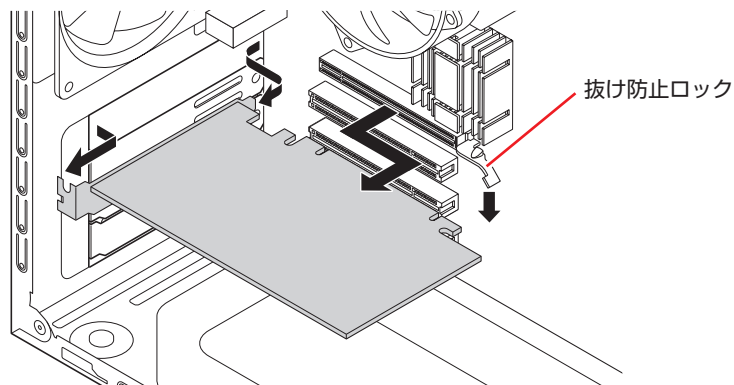
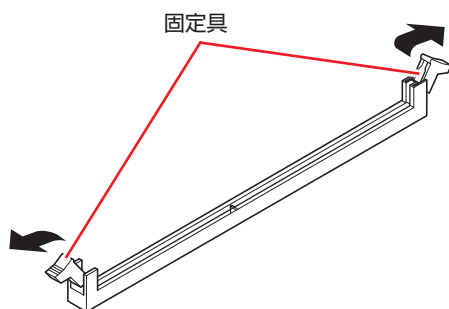
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで 10 分以上放置してください。

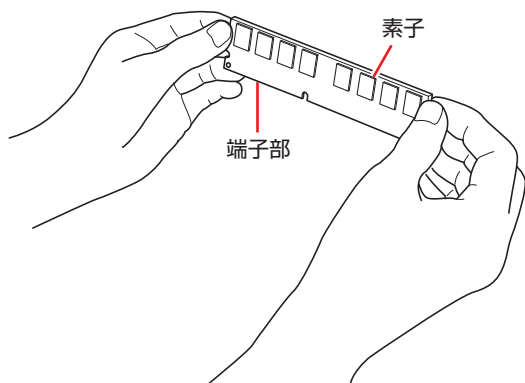
2 本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。

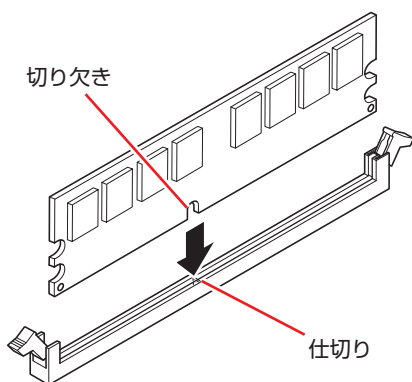
3 本体カバーを取り外します。

❶ 本体背面右側のネジ（2 本）を外します。

❷ 本体カバーを本体背面側にスライドさせます。

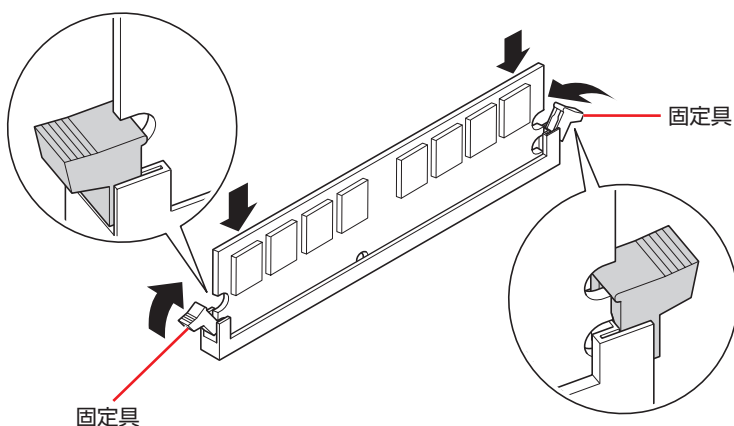
❸ 本体カバーを横へ外します。

4 PCI Express x16 スロットにボードが装着されていて、作業の妨げになる場合は、ボードを外します。

❶ ネジを外して、拡張ボード固定金具を取り外します。

❷ 抜け防止ロックを下に押しながら、ボードを引き抜きます。

5 メモリースロット両端の固定具を開きます。

6 メモリーを静電防止袋から取り出します。

メモリーの端子部や素子に触れないように注意します。

7 メモリースロットにメモリーを差し込みます。

1. メモリーの切り欠きをメモリースロット内の仕切りに合わせます。

メモリーの切り欠きとメモリースロット内の仕切りは、確実に合わせてください。メモリーの向きを間違うと、正しく装着できません。間違った状態で使用すると、発煙や発火のおそれがあります。

❷ メモリーを押し込むと、カチッと音がして固定具が閉じ、メモリーが固定されます。

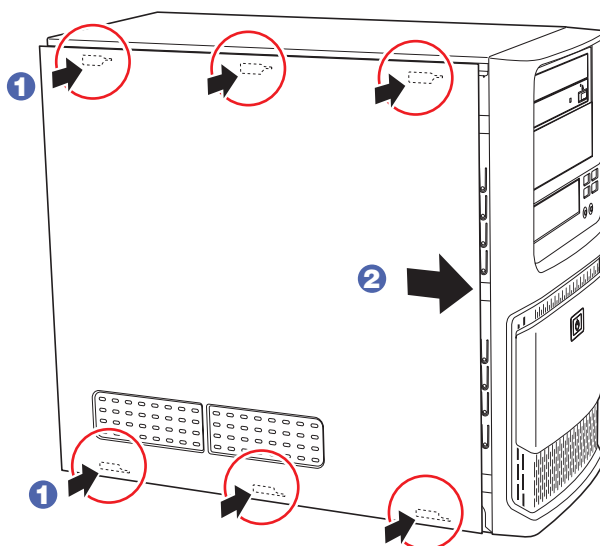
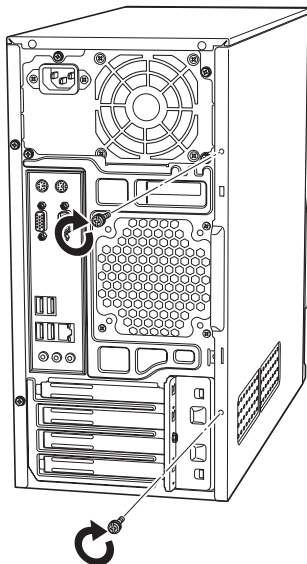
固定具が確実に閉じて、メモリーが固定されたことを必ず確認してください。

制限

固定具が確実に閉じていない場合、メモリーがしっかりと固定されていない可能性があります。
再度、メモリーの向きを確認し、固定具が確実に閉じるまで、しっかりとメモリーを押し込んでください。

8 4 でボードを外した場合は、元どおりに装着します。

9 本体カバーを取り付けます。

❶ 本体側面の穴（6 個）とカバーの突起（6 個）の位置を合わせて、本体カバーを横からはめ込みます。

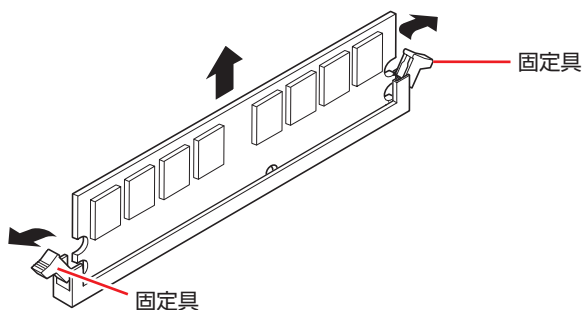
❷ 本体カバーを本体前面側にスライドさせます。

③ ネジ（2 本）で本体カバーを固定します。

10 2 で取り外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

11 本機の電源を入れて、メモリーの容量を確認します。

p.37「メモリー取り付け・取り外し後の作業」

取り外し

メモリーの取り外しは、p.33「取り付け」の 5 ～ 7 を次の手順に読み替えて行ってください。

1 メモリーの両端を固定している固定具を開きます。

2 メモリーが外れたら静かに取り外します。

静電気防止袋に入れて保管してください。

3 固定具を閉じておきます。

メモリー取り付け・取り外し後の作業

メモリーの取り付け・取り外しをしたら、メモリーが正しく取り付けられているかどうか、必ずメモリー容量を確認します。
メモリー容量の確認方法は次のとおりです。

1 **本機の電源を入れて「EPSON」と表示されたら、すぐに Delete を「トン、トン、トン…」と連続的に押して「BIOS Setup ユーティリティー」を起動します。**

2 **「Main」メニュー画面－「System Information」－「Installed Memory」に表示されているメモリー容量を確認します。**

※「Usable Memory」項目の表示限界は 3550MB です。

3 **F10 を押して BIOS Setup ユーティリティーを終了します。**

2 でメモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、メモリーを正しく取り付けなおしてください。

ソフトウェアの再インストール

ソフトウェアを再インストールする手順について説明します。

再インストールの前に

ここでは、ソフトウェアの再インストールを行う前に必要な情報を記載しています。

※ Windows XP の場合は、ダウングレードモデル用別冊子をご覧ください。

再インストールとは

本書では、HDD をフォーマットして、Windows や本体ドライバーなどをインストールしなおす作業のことを、「再インストール」と記載します。
再インストールは「リカバリー」とも言います。

再インストールが必要な場合

再インストールは次のような場合に行います。通常は必要ありません。

- なんらかの原因で Windows が起動しなくなり、修復しても問題が解決できない場合
- HDD 領域の構成を変更したい場合

Windows を修復する

なんらかの原因で Windows が起動しなくなった場合は、再インストールを行う前に「Windows 回復環境」で Windows の修復を行ってみてください。再インストールをしなくても、問題が解決する場合があります。

p.77「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

システムイメージの回復

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windows やソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

※ 再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。
システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「「システムイメージの作成」のデータを復元する方法」

重要事項

再インストールする前に、次の重要事項を必ずお読みください。

当社製以外の BIOS へのアップデート禁止

当社製以外の BIOS へのアップデートは絶対にしないでください。当社製以外の BIOS にアップデートすると、再インストールができなくなります。

Web フィルタリングソフトウェアの継続利用

本機に添付の Web フィルタリングソフトウェア「i －フィルター 30 日版」で継続利用手続きを行っている場合、Windows を再インストールすると利用期限が 30 日に設定されてしまいます。
この場合は、デジタルアーツ社のホームページから最新版を入手し、契約済みのシリアル ID を利用してインストールを行ってください。
詳細は、デジタルアーツ社にお問い合わせください。

http://www.daj.jp/cs/support.htm

最新の情報

インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認して、紙類が添付されている場合は、その手順に従って作業を進めてください。

必要なメディア

再インストールには、次のメディアが必要です。

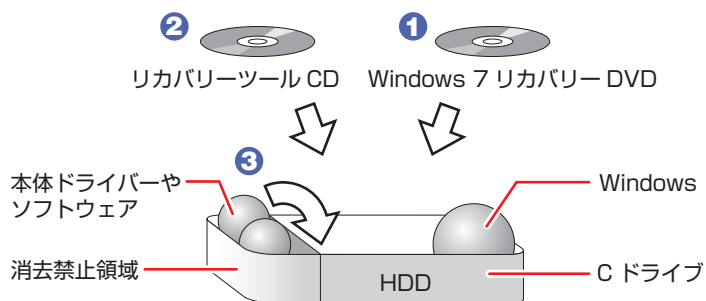
- **Windows 7 リカバリー DVD**
  Windows が収録されています。

- **リカバリーツール CD**
  本体ドライバーやソフトウェアを、HDD の「消去禁止領域」からインストールするためのプログラムが収録されています。

- **そのほか必要なメディア**
  お使いのシステム構成によって必要なメディアは異なります。

本体ドライバーやソフトウェアは、HDD の消去禁止領域に収録されているため、専用のメディアは添付されていません。
☞ p.84「添付されているソフトウェア」

再インストールの概要

ソフトウェア再インストールの概要は、次のとおりです。

❶ Windows 7 リカバリー DVD から、Windows をインストールします。

❷ リカバリーツール CD から、リカバリーツールをインストールします。

❸ リカバリーツールを使用して、HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアをインストールします。

インストールの順番

再インストールは、次の順番で行います。
購入時のインストール状態は、p.84「添付されているソフトウェア」で確認してください。

必ずインストールするソフトウェア

❶ Windows（Windows 7 Ultimate/Professional の場合、Windows XP Mode 含む）

❷ リカバリーツール

❸ 本体ドライバー

❹ 拡張ボードのドライバー（拡張ボード搭載時）

❺ Adobe Reader

❻ Windows Live Suite

❼ セキュリティーソフトウェア

❽ WinDVD（WinDVD 添付時）

❾ Nero 9 Essentials（書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時）

必要に応じてインストールするソフトウェア

1. WDLC フォトガジェット
2. Web フィルタリングソフトウェア
3. ATOK 無償試用版（30 日間）

インストール作業における確認事項

再インストールを始める前に、下記の点をご確認ください。

●管理者（Administrator）のアカウントでログオン

インストール作業は、管理者（Administrator）のアカウントでログオンして行ってください。

●システム構成

本章のインストール手順は、購入時のシステム構成を前提にしています。インストールは、BIOS の設定とシステム構成を購入時の状態に戻して行うことをおすすめします。

●ドライブ名

本章の説明では、ドライブ構成が次のようになっているものとします。
実際の光ディスクドライブのドライブ名は、HDD 領域の数によって異なります。

C ドライブ：HDD

D ドライブ：光ディスクドライブ

●各種設定やデータのバックアップ

再インストールを行うと、設定した事項が元に戻ってしまったり、データが消去されたりします。再インストールを行う前に必要に応じて設定を書き写したり、データのバックアップを行っておいてください。

p.45「バックアップを取る」

●初期設定ツール

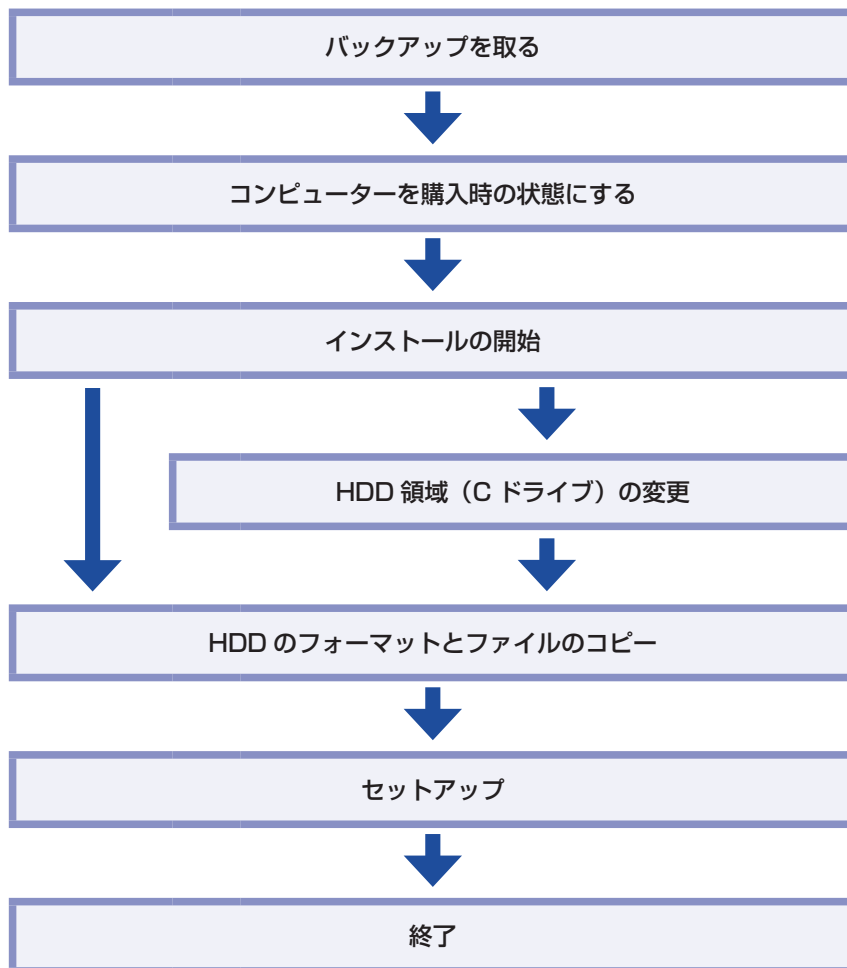
初期設定ツールは、Windows を再インストールすると消去されます。初期設定ツールでインストールしたソフトウェアは、以降で説明する手順に従ってインストールを行ってください。

Windows のインストール

Windows のインストールについて説明します。

インストールの流れ

Windows のインストールの流れは次のとおりです。

バックアップを取る
↓
コンピューターを購入時の状態にする
↓
インストールの開始
↓
HDD 領域（C ドライブ）の変更
↓
HDD のフォーマットとファイルのコピー
↓
セットアップ
↓
終了

HDD 領域（C ドライブ）を変更するには

Windows のインストール中に C ドライブ（Windows がインストールされている領域）のサイズを変更したり、分割したりすることができます。

HDD 領域の変更や、分割についての詳しい説明は、次をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「HDD 領域（ドライブ）の分割・変更・作成」

バックアップを取る

C ドライブの設定やデータは、Windows の再インストールを行うと消えてしまいます。再インストールの前に、次の設定やデータのバックアップを行ってください。*

●ネットワークの設定

接続に関する設定を書き写しておいてください。

●Internet Explorer の「お気に入り」・Windows Live メールの「アドレス帳」やメールデータ

このほかの Web 閲覧ソフトやメールソフトをお使いの場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

●そのほか重要なデータ

* 再インストール中に HDD 領域の変更を行うと、C ドライブ以外のドライブ（D や E など）のデータも消えてしまいますので、バックアップを行ってください。
HDD 領域の変更を行わない場合でも、念のためバックアップを取ることをおすすめします。

コンピューターを購入時の状態にする

周辺機器が接続されていたり、BIOS の設定値が変更されていたりすると、正常にインストールが行われない可能性があります。本機を購入時の状態に戻してから再インストールを行ってください。

2台目以降のHDDを取り外す

HDD を 2 台以上装着している場合は、再インストール中に HDD の順番が異なって表示されることによるデータの誤消去を防ぐため、2 台目以降の HDD を一旦取り外します。

※ RAID ボード搭載時は、2 台目の HDD は取り外さずに、そのまま再インストールを行ってください。

1 **本機の電源を切り、本体カバーを外して、2 台目以降の HDD に接続されている、周辺機器用電源ケーブルと、シリアル ATA ケーブルを取り外します。**

2 **Windows が起動するかどうか確認します。**

接続されている HDD が、これから Windows を再インストールする HDD であることを確認します。

Windows、ドライバー、ソフトウェアの再インストールが完了したら、HDD を元どおりに接続してください。

Windows 7のインストール

Windows 7のインストール方法は、次のとおりです。Windows 7 Ultimate/Professionalの場合、Windows XP Modeも同時にインストールされます。

※ ダウングレードモデルの場合は、ダウングレードモデル用別冊子に記載の手順でインストールを行ってください。
※ RAIDボード搭載時は、Windowsの再インストール中に、RAIDドライバーをインストールする必要があります。別冊「RAIDボード取扱説明書」に記載の手順でインストールを行ってください。

1 **本機の電源を入れ、「Windows 7リカバリーDVD」を光ディスクドライブにセットします。**

「自動再生」画面が表示されたら、×をクリックし、画面を閉じてください。
ここからはインストールを行いません。

2 **[スタート] ー [▷] ー「再起動」をクリックして、本機を再起動します。**

3 **「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。**

一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindowsが起動してしまいます。Windowsが起動してしまった場合は、2へ戻ります。

4 **「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。**

5 **オペレーティングシステムの一覧画面が表示されたら、「Windowsの起動に伴う…」を選択し、[次へ] をクリックします。**

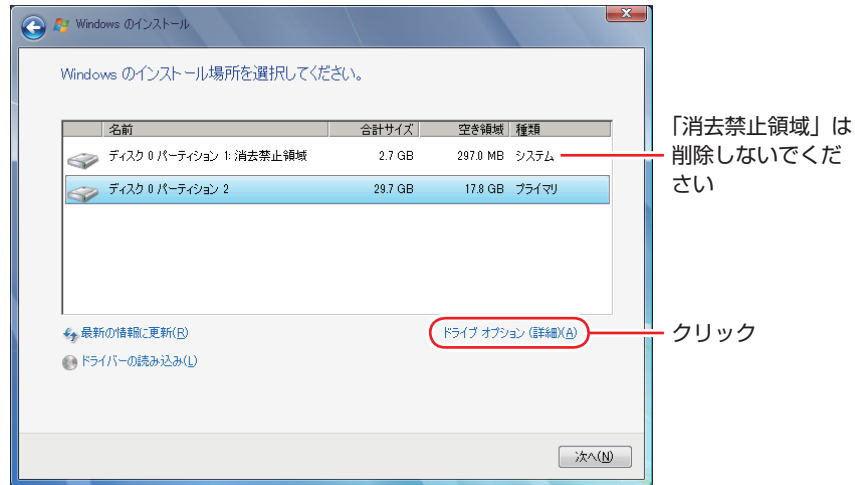
6 **「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「Windowsの再インストール」をクリックします。**

7 **「インストールを開始しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。**

8 **「インストールするオペレーティングシステムを選択してください」と表示されたら、[次へ] をクリックします。**

9 **「ライセンス条項をお読みください。」と表示されたら、内容を確認し、「同意します」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。**

10 「Windows のインストール場所を選択してください。」と表示されたら、「ドライブオプション（詳細）」をクリックします。

※「消去禁止領域」には、ドライバーやソフトウェアの再インストール用データが収録されています。絶対に削除しないでください。

<イメージ>

場合によって、次のとおり作業を続けます。

領域変更を行わない場合（通常）

1. 「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で「フォーマット」をクリックします。

2. 「パーティションには…」と表示されたら、［OK］をクリックします。
   フォーマットが開始されます。

3. フォーマットが終了すると、［次へ］がクリックできる状態になります。
   「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で［次へ］をクリックします。
   Windows のインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは 20 分～ 40 分かかります。**11** の画面が表示されるまでキーボードやマウスは操作しないでください。

領域変更を行う場合

❶「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で「削除」をクリックします。

❷「パーティションには…」と表示されたら、［OK］をクリックします。

削除したパーティション（C ドライブ）が「未割り当て領域」となります。

❸ 場合によって、次のとおり作業を続けます。

C ドライブを分割したい場合

（1）「ディスク 0 未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。

❹ に進みます。

C ドライブの容量を増やしたい場合

すでに HDD が分割されている場合は、C ドライブ以外のドライブを削除して未割り当ての領域を増やします。ただし、削除したドライブのデータは消えてしまいます。

（1）そのほかのパーティションも C ドライブと同様に削除し、「ディスク 0 未割り当て領域」を増やします。

（2）「ディスク 0 未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。

❹ に進みます。

❹ C ドライブのサイズを決めます。サイズを入力し、「適用」をクリックします。

C ドライブには、40GB（40000MB）程度を割り当てることをおすすめします。

❺「ディスク 0 パーティション 2」（C ドライブ）が選択された状態で、［次へ］をクリックします。

Windows のインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは 20 分～ 40 分かかります。11 の画面が表示されるまでキーボードやマウスは操作しないでください。

11 「新しいアカウントのユーザー名と…」と表示されたら、ユーザー名、コンピューター名を入力し、［次へ］をクリックします。

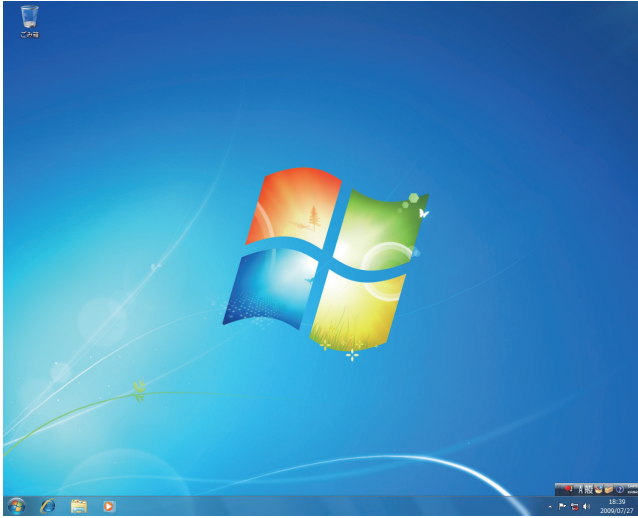
12 「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」と表示されたら、パスワード（任意）を入力し、［次へ］をクリックします。

13 「コンピューターの保護と…」と表示されたら、更新の設定をクリックして選択します。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

14 「日付と時刻の設定を確認します」と表示されたら、「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定し、［次へ］をクリックします。

15 ネットワークに接続している場合、「お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください」と表示されます。場所をクリックして選択します。

16 Windows のデスクトップ（下記の画面）が表示されたら、「Windows 7 リカバリーDVD」を光ディスクドライブから取り出します。

これで Windows 7 のインストールは完了です。
続いて、ドライバーやソフトウェアをインストールします。
p.50「ドライバー / ソフトウェアのインストール」

参考

領域変更を行ったら

Windows のインストール中に領域変更を行った場合は、すべてのインストール作業が終わった後で、「未割り当て領域」に領域（パーティション）を作成します。
p.58「領域の作成」

ドライバー / ソフトウェアのインストール

Windows をインストールしたら、次の順番でソフトウェアやドライバー類をインストールします。

HDD を 3 台装着していると、リカバリーツールが動作しないことがあります。
その場合は、3 台目の HDD を一旦取り外してください。
インストールが完了したら、HDD を元どおりに接続します。

リカバリーツールのインストール

HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアをインストールするためのツール「リカバリーツール」をインストールします。
リカバリーツールのインストール方法は、次のとおりです。

1 「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブにセットします。

2 「自動再生」画面が表示されたら、「setup.exe の実行」をクリックします。

「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] －「コンピューター」－「EPSON_CD」をダブルクリックします。

3 以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。
インストールが完了すると、デスクトップ上に「リカバリーツール」アイコンが表示されます。

<リカバリーツールアイコン>

4 「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブから取り出します。

アイコンが正常に表示されない場合は、コンピューターを再起動してください。
これで「リカバリーツール」のインストールは完了です。

本体ドライバーのインストール

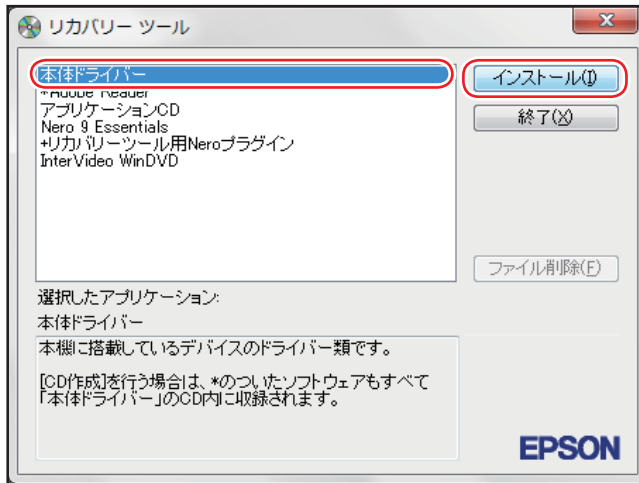
本機のマザーボード上に搭載されているデバイスのドライバー類（本体ドライバー）を、一括インストールします。本体ドライバーのインストール方法は、次のとおりです。

1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。

4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「本体ドライバー」を選択して［インストール］をクリックします。

5 の画面が表示されるまでには、数分かかります。

<イメージ>

5 「ドライバー・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、［インストール］をクリックします。

6 「インストール確認」画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、［OK］をクリックします。

各ドライバーが自動的にインストールされます。
インストールには数分かかります。

7 「インストールが完了しました。」と表示されたら、［OK］をクリックします。

8 「インストール処理」画面が表示されたら、インストールが正常に完了したかを確認し、［PC 再起動］をクリックします。

Windows が再起動したら、本体ドライバーのインストールは完了です。

リカバリーツールの［ファイル削除］の表示について

リカバリーツールからインストールを行う際、ソフトウェアによっては一時的に HDD にインストール用データをコピーします。「リカバリーツール」画面で［ファイル削除］が黒字で表示されるときは、コピーされた不要なインストール用データが HDD に残っています。［ファイル削除］をクリックしてデータを削除すると、HDD の容量を節約することができます。

拡張ボードのドライバーのインストール

拡張ボード搭載時

拡張ボードをお使いの場合は、拡張ボードのドライバーをインストールします。
インストールは、拡張ボードに添付のディスクを使用して行います。ディスクを光ディスクドライブにセットし、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

Adobe Readerのインストール

「Adobe Reader」は、PDF 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。
Adobe Reader のインストール方法は、次のとおりです。

1. **デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。**
2. **「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。**
3. **「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。**
4. **本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「Adobe Reader」を選択して [インストール] をクリックします。**
5. **「インストール先のフォルダ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。**

Windows Live Suiteのインストール

「Windows Live Suite」は、「Windows Live メール」など、複数のソフトウェアを含むパッケージです。
Windows Live Suite のインストール方法は、次のとおりです。

1. **デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。**
2. **「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。**
3. **「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。**
4. **本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーション CD」を選択して、[インストール] をクリックします。**
5. **「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、「Windows Live Suite」をクリックします。**

6 「サービス利用規約」と表示されたら、内容を確認し、［同意する］をクリックします。

7 「インストールする製品を選択してください」と表示されたら、インストールしたい製品にチェックを付けて、［インストール］をクリックします。

購入時にインストールされている製品は、次のとおりです。

- Windows Live Messenger
- Windows Live メール
- Windows Live フォトギャラリー
- Windows Live ムービーメーカー
- Windows Live Writer
- Microsoft Silverlight

8 「もう少しで完了です」と表示されたら、［続行］をクリックします。

9 「Windows Live へようこそ！」と表示されたら、［閉じる］をクリックします。

これで、Windows Live Suite のインストールは完了です。

セキュリティーソフトウェアのインストール

本機に添付のセキュリティーソフトウェア「マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版」のインストール方法を説明します。
市販のセキュリティーソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧になり、インストールを行ってください。

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版のインストール

マカフィー·PC セキュリティセンター 90 日期間限定版のインストール方法は、次のとおりです。

1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、［インストール］をクリックします。

4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーション CD」を選択して、［インストール］をクリックします。

5 「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、「McAfee PC Security Center 90 日版」をクリックします。

6 マカフィーのインストール画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

再インストール用データのバージョン

マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版の再インストール用データは、バージョンが古い可能性があります。ライセンス契約中であれば、オンラインで最新バージョンにアップデートが可能です。

WinDVDのインストール

WinDVD 添付時

「WinDVD」は、DVD VIDEO を再生するためのソフトウェアです。DVD-ROM ドライブ（再生ソフトなし）の場合は添付されていません。
WinDVD のインストール方法は、次のとおりです。

1. デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
3. 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。
4. 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「InterVideo WinDVD 」を選択して[インストール] をクリックします。
5. 「WinDVD-InstallShield Wizard」画面が表示された場合は、WinDVD の動作に必要なアプリケーションをインストールします。
6. 「WinDVD セットアップへようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

Nero 9 Essentialsのインストール

書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時

「Nero 9 Essentials」は、光ディスクドライブで書き込みを行うためのソフトウェアです。
Nero 9 Essentials のインストール方法は、次のとおりです。

1. デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。
2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。
3. 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。

4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「Nero 9 Essentials」を選択して［インストール］をクリックします。

5 「Nero MultiInstaller」画面が表示されたら、［Nero 9 Essentials］をクリックします。

6 「Nero 9 Essentials のインストールへようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

リカバリーツール用 Nero プラグインのインストール

「リカバリーツール用 Nero プラグイン」は、リカバリーツールの CD 作成機能を有効にするためのソフトウェアです。リカバリーツール用 Nero プラグインのインストール方法は、次のとおりです。

1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックします。

3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、［インストール］をクリックします。

4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧が表示されたら、一覧から「リカバリーツール用 Nero プラグイン」を選択し、［インストール］をクリックします。

5 「リカバリーツール用 Neroプラグインのインストール」画面が表示されたら、［インストール］をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

インストール終了後に、「プログラムの互換アシスタント このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」と表示される場合があります。この場合は、「このプログラムは正しくインストールされました」を選択してください。

バックアップ CD からのインストール

CD 作成した「Nero 9 Essentials」メディアから、リカバリーツール用 Nero プラグインをインストールする場合は、Plugin フォルダー内の EDCinst を実行してください。

WDLCフォトガジェットのインストール

「WDLC フォトガジェット」は、デスクトップ上で写真を閲覧･管理するためのソフトウェアです。
WDLC フォトガジェットのインストール方法は、次のとおりです。

1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。

4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーション CD」を選択して、[インストール] をクリックします。

5 「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、「WDLC フォトガジェット」をクリックします。

これで WDLC フォトガジェットのインストールは完了です。

Webフィルタリングソフトウェアのインストール

本機に添付の Web フィルタリングソフトウェア「i －フィルター 30 日版」のインストール方法を説明します。
市販の Web フィルタリングソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアのマニュアルをご覧になり、インストールを行ってください。

i －フィルター 30 日版のインストール

i －フィルター 30 日版のインストール方法は、次のとおりです。

1 デスクトップ上の「リカバリーツール」アイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

3 「リカバリーツール」画面が表示されたら、[インストール] をクリックします。

4 本体ドライバーやソフトウェアの一覧画面が表示されたら、一覧から「アプリケーション CD」を選択して、[インストール] をクリックします。

5 「アプリケーションのインストール」画面が表示されたら、「i －フィルター 30 日版」をクリックします。

6 「i －フィルター ･･･ インストール」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ATOK無償試用版(30日間)のインストール

ATOK は、日本語変換に優れた、日本語入力システムです。
ATOK 無償試用版（30 日間）は、下記のページからダウンロードしてください。

http://www.atok.com/try/

そのほかのインストール

必要に応じて次のインストールを行ってください。

各種ドライバー / ユーティリティー / ソフトウェアのインストール

お使いのシステム構成によって、必要なドライバーやユーティリティー、ソフトウェアをインストールします。
インストールは、機器やソフトウェアに添付のメディアを使用して行ってください。

- キーボードユーティリティー（メディアが添付されている場合）
- マウスユーティリティー（メディアが添付されている場合）
- ソフトウェア（Office など）
- プリンターのドライバー
- デジタルカメラのソフトウェア

など

再インストール後の作業

再インストールが完了したら、必要に応じて次の作業を行ってください。

2台目以降のHDDを接続する

再インストールの前に、2 台目以降の HDD を取り外した場合は、元どおりに接続してください。

バックアップしたデータの復元

再インストールを行う前にバックアップしたデータを復元します。

●Internet Explorer、Windows Live メールのデータ

「PC お役立ちナビ」－［お役立ち］－「カテゴリから選ぶ」－「Windows の操作」－「バックアップ」－「Windows 転送ツールを使う」

●そのほか重要なデータ

バックアップ先のメディアなどから元に戻します。

領域の作成

Windows のインストール中に HDD 領域を変更した場合、「未割り当て領域」はそのままでは使用できません。Windows の「ディスクの管理」を使用して、領域の作成を行います。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「HDD 領域（パーティション）の作成手順」

ネットワークの設定

再インストールを行う前に書き写しておいた設定を元に、ネットワークの設定を行います。

Windowsやソフトウェアをアップデートする

再インストールをすると、今までに行った Windows やソフトウェアの更新が元の状態に戻ってしまいます。最新の状態になるよう、アップデートを行ってください。

※ アップデートをするにはインターネットへの接続が必要です。

●Windows

自動更新の設定がされていると、更新プログラムが自動的にダウンロード、インストールされ、最新の状態になります。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「インターネットを使用する際のセキュリティー対策」

● ソフトウェア

アップデート方法は、ソフトウェアのヘルプやマニュアルをご覧ください。

最新のドライバーを入手する

当社ユーザーサポートページでは、本機の最新ドライバーを提供しています。必要に応じ、ダウンロードしてご利用ください。

http://www.epsondirect.co.jp/support/

困ったときは

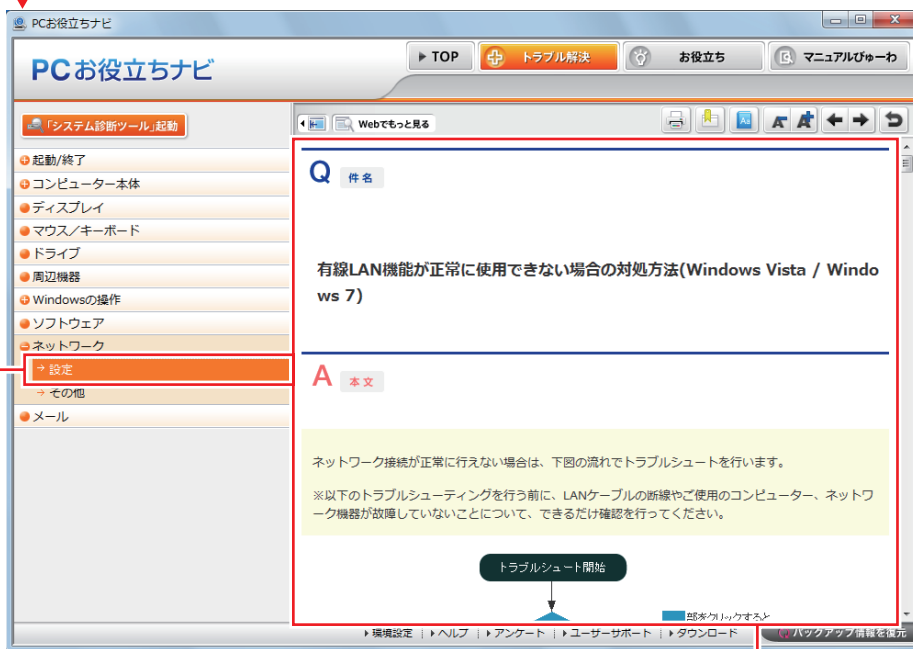
困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

起動・画面表示できる場合…PCお役立ちナビで調べる

コンピューターを起動、画面表示できる場合は、「PC お役立ちナビ」の［トラブル解決］で対処方法を探してください。

※ Windows XP の場合は、サポートツール「インフォメーションメニュー」の「とらぶる解決ナビ」をご覧ください。

システム診断ツール

「PC お役立ちナビ」の［トラブル解決］には、システム診断ツールが搭載されています。

p.79「システム診断ツールを使う」

Windows のトラブルシューティングツール

Windows 7 にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

［スタート］－「コントロールパネル」－「システムとセキュリティ」－「コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング」

トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをクリックして、トラブルシューティングを行ってみてください。

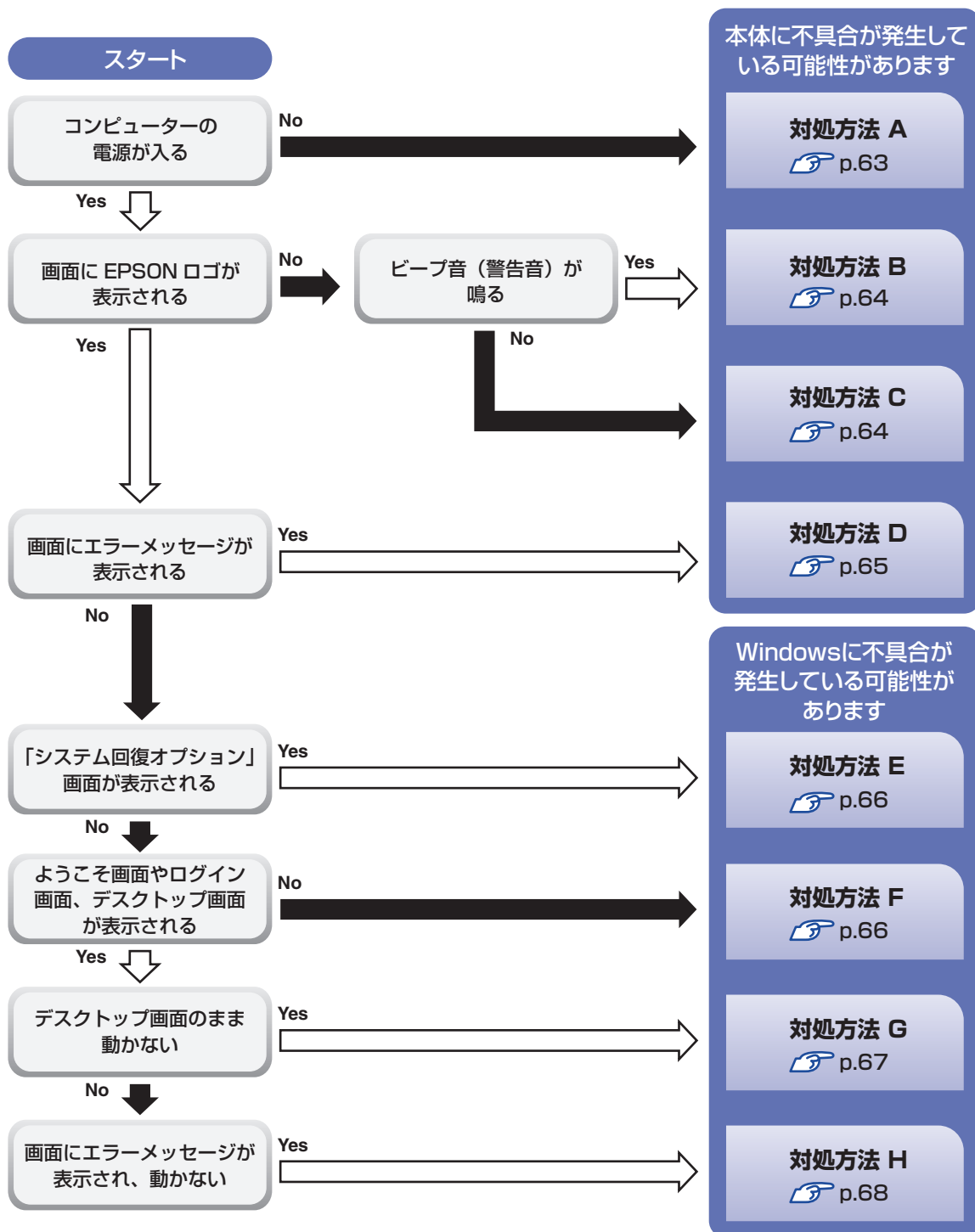
起動・画面表示できない場合

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、p.62「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは

コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処を行ってください。

診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、p.63「対処をする」へ進んでください。

対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処を行っても不具合が解消しない場合は、別冊『サポート･サービスのご案内』をご覧になり、サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法　A

次の対処を順番に行ってみてください。

1 **コンピューター本体の電源を入れなおす**

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 **コンピューター本体の電源コードを接続しなおす**

電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 **壁のコンセントに直接接続する**

電源タップなどにコンピューターの電源コードを接続している場合は、電源タップなどを使用せず、壁にあるコンセントに直接コンピューターの電源コードを接続して、電源を入れてみてください。

4 **消費電力の大きい機器を停止する**

大画面テレビやエアコンなど、消費電力の大きい機器を使用している場合、それらの機器の電源を切ってから、コンピューターの電源を入れてみてください。

5 **周辺機器や増設した装置を取り外す**

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

6 **CMOS RAM の初期化を行う**

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

p.74「リチウム電池の脱着（CMOS RAM の初期化）」

対処方法　B

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす

電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

2 メモリーを差しなおす

メモリーに不具合が発生している可能性があります。メモリーを抜き差しし、問題が解決されるかどうか確認してください。本機内部にホコリがたまっている場合は、除去してください。

p.31「メモリーの取り付け・取り外し」

3 拡張ボード（ビデオボードなど）を差しなおす

拡張ボード（ビデオボードなど）を装着している場合は、ボードに不具合が発生している可能性があります。ボードを差しなおし、問題が解決されるかどうか確認してください。

4 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

p.74「リチウム電池の脱着（CMOS RAM の初期化）」

対処方法　C

次の対処を順番に行ってみてください。

1 ディスプレイの電源ランプを確認する

ディスプレイの取扱説明書をご覧になり、ディスプレイの電源ランプが通常動作時の状態になっているかどうか確認してください。

2 ディスプレイケーブルを接続しなおす

コンピューター本体とディスプレイの接続に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、ディスプレイケーブルを接続しなおし、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決するかどうか確認してください。

3 別のディスプレイを接続する

ディスプレイとコンピューター、どちらの問題かを切り分けるため、別のディスプレイをお持ちの場合は、コンピューターを接続し、画面が表示されるか確認してください。

4 コンピューター本体の電源コードを接続しなおす

電源に問題がある可能性があります。コンピューター本体とディスプレイの電源を切ってから、コンピューター本体の電源コードを外して 1 分程放置し、ディスプレイ、コンピューター本体の順に電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

5 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

6 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

p.74「リチウム電池の脱着（CMOS RAM の初期化）」

対処方法　D

まず、次の表をご覧になり、エラーメッセージに応じた対処をしてください。

メッセージ	内容および対処法
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	HDD が検出できません。本機の電源を切り、Windows がインストールされている HDD にケーブルが接続されているか確認してください。
CPU Over temperature Error!	CPU が高温になっています。本機の電源を切り、本機内部が冷えるまで 10 分以上待ってから電源を入れてください。
CPU Fan Error!	CPU ファンが正常に動作していません。本機の電源を切り、20 秒以上待ってから電源を入れてください。また、CPU ファンのケーブルが CPU ファンコネクターに接続されているか確認してください。
CPU Over Voltage Error!	CPU の電源電圧が異常です。本機の電源を切り、本機内部が冷えるまで 10 分以上待ってから電源を入れてください。
CMOS Checksum Bad Press F1 to Run SETUP	F1 を押すと、BIOS Setup ユーティリティーが起動します。通常は、F5 を押して BIOS を初期化し、F10 を押して BIOS Setup ユーティリティーを終了すると、Windows が起動します。起動の度にメッセージが表示される場合は、リチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してみてください。 p.74「リチウム電池の脱着（CMOS RAM の初期化）」

あてはまるメッセージがない場合は、次のとおり対処してみてください。

1 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

2 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

p.74「リチウム電池の脱着（CMOS RAM の初期化）」

対処方法　E

次の対処を行ってみてください。

1 Windows 回復環境（Windows RE）で不具合対処をする

p.78「「システム回復オプション」画面が表示されたら」

対処方法　F

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 セーフモードで起動し、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

p.71「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、「システムの復元」機能を使用して以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。システムの復元を行ってみてください。

p.71「システムの復元」

4 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

p.72「前回正常起動時の構成で起動する」

5 BIOS の設定を初期値に戻す

BIOS の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。BIOS の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に BIOS の設定をメモしておいてください。

p.73「BIOS の初期化」

6 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

p.74「リチウム電池の脱着（CMOS RAM の初期化）」

7 Windows RE を使う

「Windows 回復環境（Windows RE）」の回復ツールを使用して、Windows を修復してみてください。

p.77「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

8 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。
Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

p.39「ソフトウェアの再インストール」

対処方法　G

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 周辺機器や増設した装置を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどの周辺機器、メモリーや拡張ボードなど、お客様ご自身で増設された装置がある場合は、装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

3 セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

p.71「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

p.71「常駐ソフトの停止」

常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

p.71「システムの復元」

4 前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

p.72「前回正常起動時の構成で起動する」

5 CMOS RAM の初期化を行う

CMOS RAM の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。CMOS RAM の初期化を行って問題が解決されるかどうか確認してください。

p.74「リチウム電池の脱着（CMOS RAM の初期化）」

6 Windows RE を使う

「Windows 回復環境（Windows RE）」の回復ツールを使用して、Windows を修復してみてください。

p.77「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

7 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが壊れている可能性があります。Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

p.39「ソフトウェアの再インストール」

対処方法　H

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューター本体の電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 セーフモードで起動し、常駐ソフトを停止したり、システムの復元を行う

必要最低限の状態であるセーフモードで起動してみてください。

p.71「セーフモードでの起動」

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。

p.71「常駐ソフトの停止」

常駐ソフトが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。

p.71「システムの復元」

3 Windows RE を使う

「Windows 回復環境（Windows RE）」の回復ツールを使用して、Windows を修復してみてください。

p.77「Windows 回復環境（Windows RE）を使う」

4 Windows を再インストールする

HDD 内に記録されている、起動部分のプログラムが壊れている可能性があります。Windows の再インストールを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

p.39「ソフトウェアの再インストール」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

機能	こんなときに
再起動 p.70 本機を再起動します。	・使用しているソフトウェアで指示があった場合 ・ソフトウェアや Windows の動作が不安定になったとき
ソフトウェアの強制終了 p.70 ソフトウェアを強制終了します。	・ソフトウェアや Windows が、キーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなったとき
セーフモードで起動 p.71 必要最低限の状態で Windows を起動します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
常駐ソフトの停止 p.71 不具合のある常駐ソフトを停止します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードで起動できたとき）
システムの復元 p.71 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードで起動できたとき）
前回正常起動時の構成で起動 p.72 Windows を前回正常起動できた状態に戻します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（セーフモードでも起動できないとき）
BIOS の初期化 p.73 BIOS の設定を初期値に戻します。	・BIOS の設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき
CMOS RAM の初期化 p.74 CMOS RAM の保存データを初期化します。	・BIOS の設定を誤って本機が起動しなくなったとき ・BIOS のパスワードを忘れてしまったとき
リチウム電池の交換 p.74 リチウム電池を交換します。	・日時や時間がおかしくなる ・BIOS で設定した値が変わってしまう
Windows 回復環境（Windows RE） p.77 Windows を修復します。	・「システム回復オプション」画面が表示されたとき ・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
ソフトウェアの再インストール p.39 本機を購入時の状態に戻します。	・Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動できないとき） ・HDD の領域を分割したいとき
システム診断ツール p.79 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	・不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。
次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- ●使用しているソフトウェアで指示があった場合
- ●Windows の動作が不安定になった場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

1 **［スタート］ － ［ ▷ ］ －「再起動」をクリックします。**

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。

ソフトウェアの強制終了

ソフトウェアや Windows がキーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態を「ハングアップ」と言います。
ハングアップした場合は、ソフトウェアの強制終了を行います。
ソフトウェアの強制終了方法は、次のとおりです。

1 **Ctrl ＋ Alt ＋ Delete を押します。**

2 **表示された項目から「タスクマネージャーの起動」をクリックします。**

「Windows タスクマネージャー」が起動します。

3 **「アプリケーション」タブからハングアップしているソフトウェアを選択して［タスクの終了］をクリックします。**

ソフトウェアが終了します。

強制的に電源を切る

Ctrl ＋ Alt ＋ Delete を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。
強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

1 **電源スイッチ（ ⏻ ）を 5 秒以上押し続けます。**

本機の電源が切れます。

セーフモードでの起動

本機を正常に起動できない場合は、セーフモードで起動してみてください。
セーフモードで起動する方法は、次のとおりです。

1 **本機の電源を切り、20 秒程放置してから電源を入れます。**

2 **EPSON と表示され、消えた直後に F8 を「トン、トン、トン…」と連続的に押します。**

3 **「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、↑ または ↓ を押して「セーフモード」を選択し、↵ を押します。**

セーフモードで起動できた場合は、不具合に対する対処を行ってください。

常駐ソフトの停止

セーフモードで起動できた場合は、常駐ソフト（システム稼動中、常に稼動しているソフト）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。
常駐ソフトを停止する手順は次のとおりです。

1 **[スタート] －「検索ボックス」に「msconfig」と入力して、↵ を押します。**

2 **「スタートアップ」タブをクリックし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐ソフト）のチェックを外し、[OK] をクリックします。**

3 **「再起動が必要な場合があります」というメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。**

常駐ソフトが原因ではなかった場合、外したチェックは元に戻してください。

システムの復元

本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。
復元ポイントは通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に自動的に作成されます。
システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

1 **[スタート] －「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システムの復元」を選択します。**

2 **「システムの復元」画面に「推奨される復元」か「別の復元ポイントを選択する」の選択肢が表示された場合は、「推奨される復元」を選択します。**

復元ポイントを自分で指定したい場合は、「別の復元ポイントを選択する」を選択します。

3 ［次へ］をクリックします。

4 復元ポイントの一覧が表示された場合は、復元ポイントを選択し、［次へ］をクリックします。

5 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、［完了］をクリックします。

6 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、［はい］をクリックします。

コンピューターが再起動します。

7 再起動後、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、［閉じる］をクリックします。

これでシステムの復元は完了です。

前回正常起動時の構成で起動する

セーフモードで起動できない場合は、前回正常起動時の構成で起動できるかどうかを確認します。

1 本機の電源を入れます。

2 「EPSON」と表示され、消えた直後に F8 を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。

3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、↑ または ↓ を押して、「前回正常起動時の構成（詳細）」を選択し、↵ を押します。

BIOSの初期化

「BIOS Setup ユーティリティー」の設定を間違えて、本機の動作が不安定になってしまった場合には、設定値を BIOS の初期値に戻してみてください。
設定値を BIOS の初期値に戻す方法は、次のとおりです。

※「Security」メニュー画面の項目を BIOS の初期値に戻すことはできません。

1 **本機の電源を入れます。**

すでに Windows が起動している場合は、再起動します。

2 **本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐにキーボードの Delete を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。**

「BIOS Setup ユーティリティー」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。
Windows が起動してしまった場合は、再起動して 2 をもう一度実行してください。

3 **F5 を押すと、次のメッセージが表示されます。**

Load Setup Defaults?	
[Ok]	[Cancel]

4 **[Ok] を選択し、↵ を押します。**

これで設定値が「BIOS の初期値」に戻ります。

5 **F10 を押すと、次のメッセージが表示されます。**

Save configuration changes and exit setup?	
[Ok]	[Cancel]

6 **[Ok] を選択し、↵ を押します。**

「BIOS Setup ユーティリティー」が終了し、Windows が起動します。

リチウム電池の脱着（CMOS RAMの初期化）

「BIOS Setup ユーティリティー」で設定した情報は、マザーボード上の COMS RAM に保存され、リチウム電池により保持されています。

リチウム電池は消耗品です。コンピューターの使用状況により異なりますが、寿命は約 3 年です。日時や時間がおかしくなったり、BIOS で設定した値が変わってしまうことが頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。このような場合は、リチウム電池を交換してください。

BIOS のパスワードを忘れたり、項目設定を誤ったりして本機が起動しなくなった場合には、リチウム電池を装着しなおすことで、CMOS RAM が初期化され、問題が解決できる場合があります。お試しください。

本機で使用できるリチウム電池は、次のとおりです。

●CR2032（または同等品）

●小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。
万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

●作業するときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜かないで作業すると、感電・火傷の原因となります。

●マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。

●リチウム電池の取り外しは、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って 10 分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。

●不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

・リチウム電池を取り外すと、現在の BIOS の設定情報は初期値に戻ります。リチウム電池を取り外す前に、BIOS の設定値を記録しておくことをおすすめします。ユーザーの設定値は、「Save User Define」で保存しておくこともできます。詳しくは、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「BIOS の設定」

・BIOS で管理者パスワードを設定し、HDD のアクセスを制限していた場合、リチウム電池を取り外しても、HDD へのアクセス制限を解除することはできません。HDD へのアクセス制限を設定した HDD は、管理者パスワードを忘れると使用できなくなります。

リチウム電池の脱着方法は、次のとおりです。

1 本機および接続している周辺機器の電源を切ります。

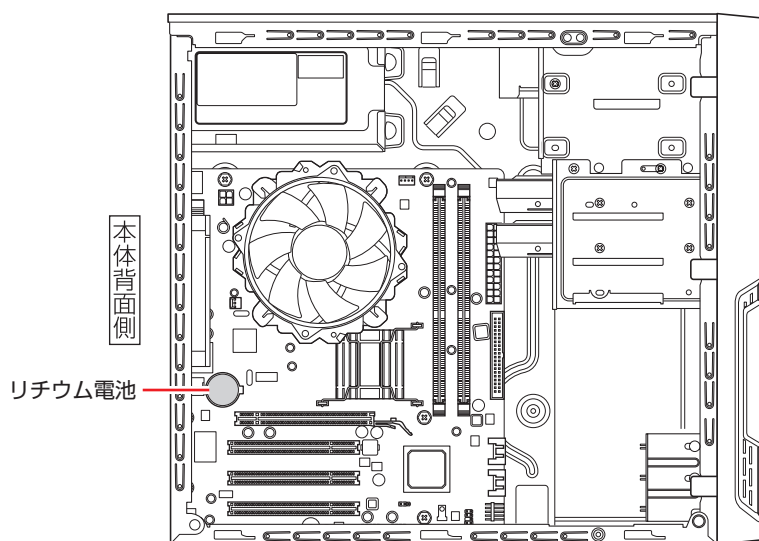
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで 10 分以上放置してください。

2 本機に接続しているケーブル類（電源コードなど）を、すべて外します。

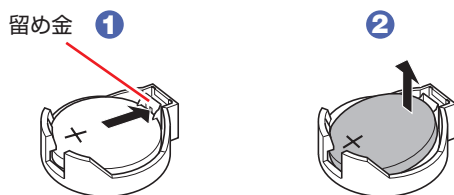
3 本体カバーを取り外します。

p.32

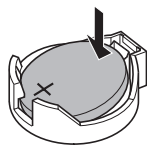
4 リチウム電池の位置を確認します。

リチウム電池は、マザーボード上の次の位置にあります。

5 リチウム電池を取り外します。

❶ 電池ホルダーの留め金を押します。

❷ リチウム電池が浮き上がったら、電池を抜きます。

6 約 1 分間放置します。

7 リチウム電池を取り付けます。

交換する場合は、新しいリチウム電池を取り付けてください。
刻印面（＋側）が表側になるようにして取り付けます。取り付けると「カチッ」と音が鳴ります。

8 本体カバーを取り付けます。

p.35

9 2 で外したケーブル類（電源コードなど）を接続します。

10 本機の電源を入れます。

11 「EPSON」と表示後、黒い画面に「CMOS Checksum Bad」と表示されたら、F1 を押して、BIOS Setup ユーティリティーを実行します。

12 F5 を押して、BIOS を初期値に戻します。

13 日付、時刻やそのほか変更の必要のある項目の再設定を行います。

ユーザーの設定値を保存しておいた場合は、「Load Setup User Define」で戻すことができます。詳しくは、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル 補足編」－「BIOS の設定」

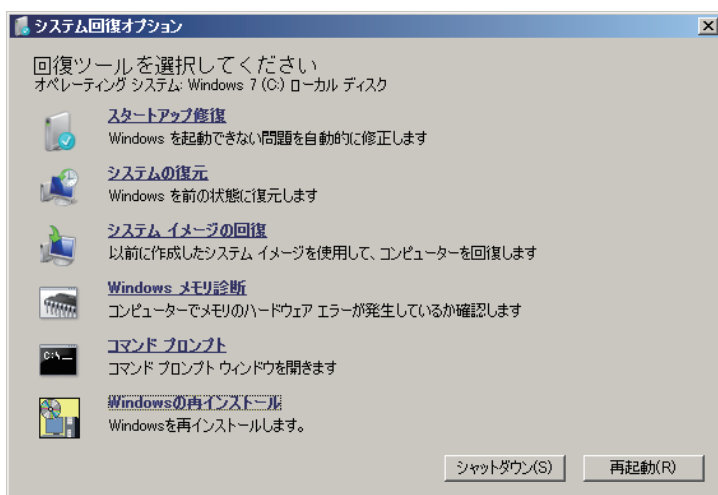
14 F10 を押して BIOS Setup ユーティリティーを終了します。

Windows回復環境(Windows RE)を使う

本機の HDD 内と「Windows 7 リカバリー DVD」には、「Windows 回復環境(Windows RE)」が設定されています。Windows RE を使用して、修復を行ってみてください。

※ Windows XP の場合、この機能はありません。

Windows RE の項目

Windows RE には、次の項目があります。

<イメージ>

●スタートアップ修復

Windows を起動できない問題を自動的に修正します。Windows が起動できないときは、まずスタートアップ修復を行ってみてください。問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

●システムの復元

コンピューターの状態を以前の状態(復元ポイントを作成した時点の状態)に戻します。Windows の動作が不安定な場合に行ってみてください。

p.71「システムの復元」

問題が解決しない場合は、「システムイメージの回復」を行ってください。

●システムイメージの回復

事前にシステムイメージを保存しておいた場合は、Windows やソフトウェアを、システムイメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。

※ 再インストールと同様、保存されているデータは消去されます。事前にバックアップを行ってください。

システムイメージの回復については、次の場所をご覧ください。

「PC お役立ちナビ」ー[お役立ち]ー「カテゴリから選ぶ」ー「Windows の操作」ー「バックアップ」ー「「システムイメージの作成」のデータを復元する方法」

●Windows メモリ診断

メモリーにハードウェアエラーが発生しているかどうかを確認します。

●コマンドプロンプト

コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

「システム回復オプション」画面が表示されたら

Windows に不具合が起きると、HDD 内の Windows RE が自動的に起動し、「システム回復オプション」画面が表示されます。
「システム回復オプション」画面が表示されたら、次の手順で Windows RE の項目を表示させ、対処を行います。

1 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

2 「回復オプションにアクセスするには…」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には「パスワード」にパスワードを入力して [OK] をクリックします。

3 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

p.77「Windows RE の項目」

HDD 内の Windows RE を手動で起動する

HDD 内の Windows RE は、手動で起動することもできます。
手動で起動する方法は、次のとおりです。

1 本機の電源を切り、20 秒程放置してから、電源を入れます。

2 「EPSON」と表示され、消えた直後に F8 を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。

3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、「コンピューターの修復」を選択し、↵ を押します。

4 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

5 「回復オプションにアクセスするには…」と表示されたら、「ユーザー名」を選択し、パスワードを設定していた場合には、「パスワード」にパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

6 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

p.77「Windows RE の項目」

DVD の Windows RE を使用する

Windows RE は、「Windows 7 リカバリー DVD」にも収録されています。HDD 内に設定されている Windows RE を消去してしまった場合などに使用してください。
DVD に収録されている Windows RE の起動方法は、次のとおりです。

1. 「Windows 7 リカバリー DVD」を光ディスクドライブにセットして、本機を再起動します。

2. 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。

3. 「システム回復オプション」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

4. オペレーティングシステムの一覧が表示されたら、[次へ] をクリックします。

5. 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

p.77「Windows RE の項目」

システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

システム診断ツールの種類

システム診断ツールには、次の 2 種類があります。

- **PC お役立ちナビから起動するシステム診断ツール**
  PC お役立ちナビからシステム診断を行うことができます。Windows を起動できる場合に使用します。

- **CD から起動するシステム診断ツール**
  Windows が起動できない場合に、「リカバリーツール CD」からツールを起動してシステム診断を行います。

システム診断を実行する

Windows を起動できる場合とできない場合で、システム診断の実行方法は異なります。

Windows を起動できる場合

PC お役立ちナビからシステム診断を行います。
実行方法は、次のとおりです。

1 デスクトップ上の「PC お役立ちナビ」アイコンをダブルクリックします。

< PC お役立ちナビアイコン>

2 PC お役立ちナビが起動したら、[トラブル解決] − [システム診断ツール起動] をクリックします。

3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。

4 システム診断ツールが起動したら、診断したい項目をクリックします。

該当項目の診断が開始されます。

5 診断が終了したら、診断結果を確認します。

「Passed」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「Failed」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
別冊『サポート･サービスのご案内』をご覧になり､テクニカルセンターまでご連絡ください｡

Windows を起動できない場合

「リカバリーツール CD」からシステム診断ツールを起動します。
実行方法は、次のとおりです。

1 「リカバリーツール CD」を光ディスクドライブにセットして、本機を再起動します。

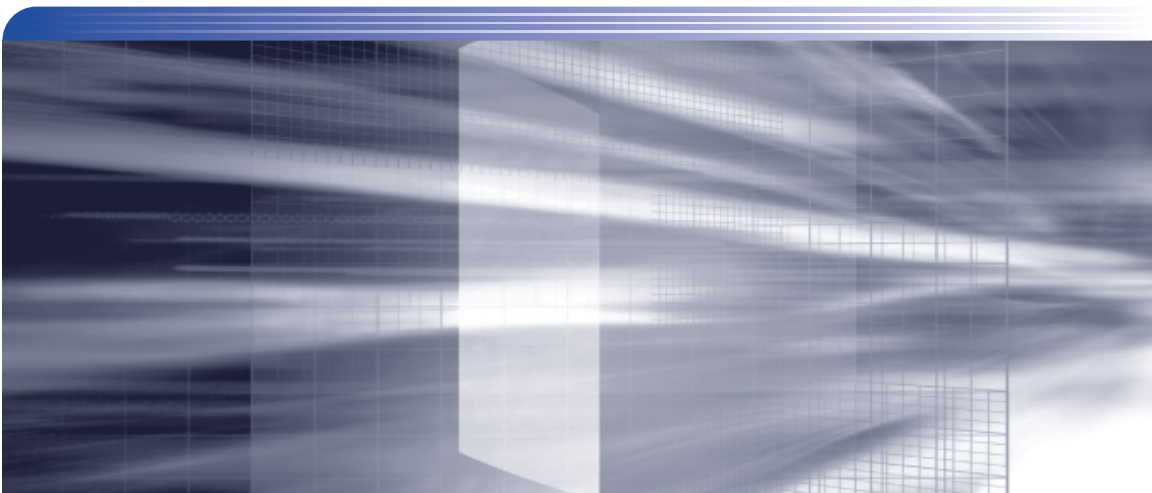
2 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、消えたあと、「Kernel Loading・・・Press any key to run PC TEST」と表示されたら、どれかキーを押します。

システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。

3 診断が終了したら、診断結果を確認します。

「F」が表示された場合は、表示された項目に不具合がある可能性があります。別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

4 光ディスクドライブから CD を取り出し、電源を切ります。

これでシステム診断は完了です。

付録

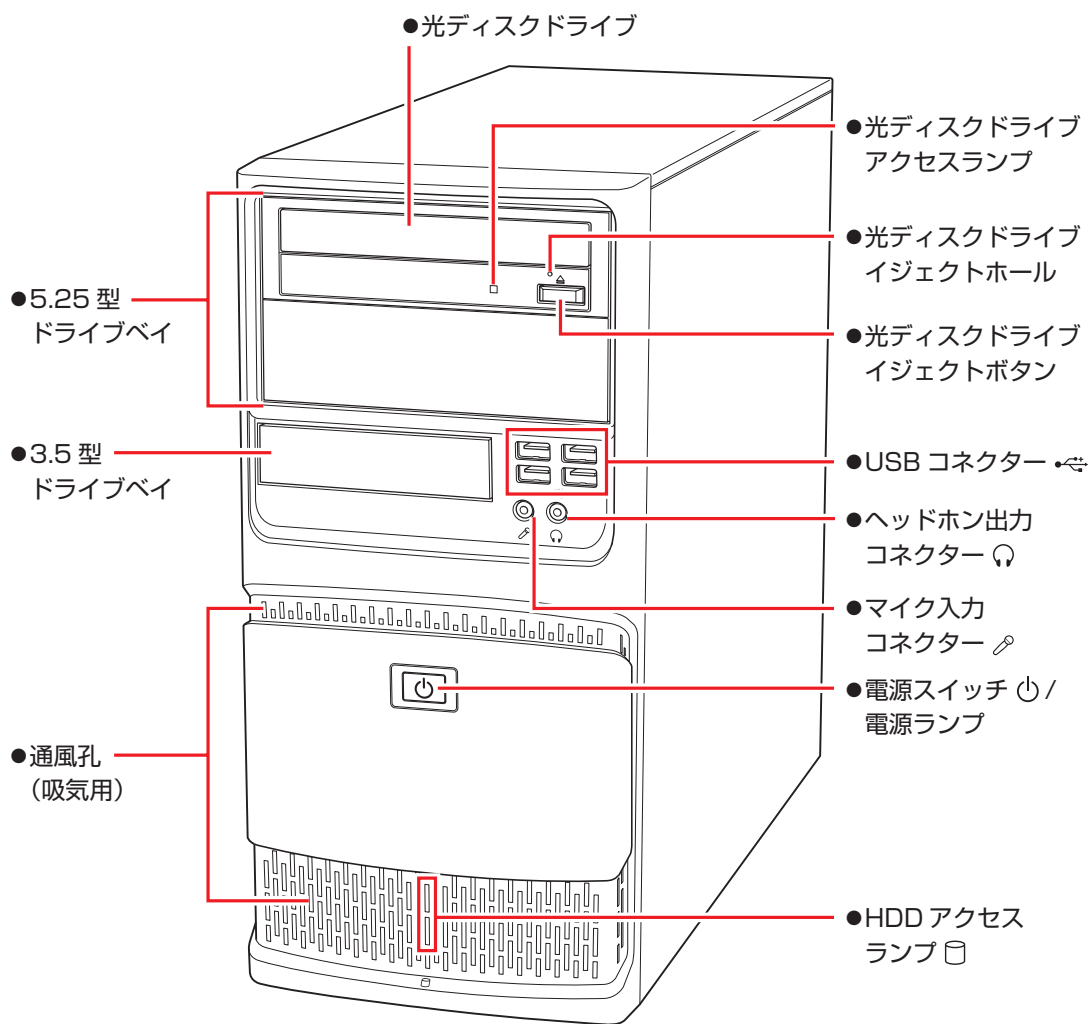
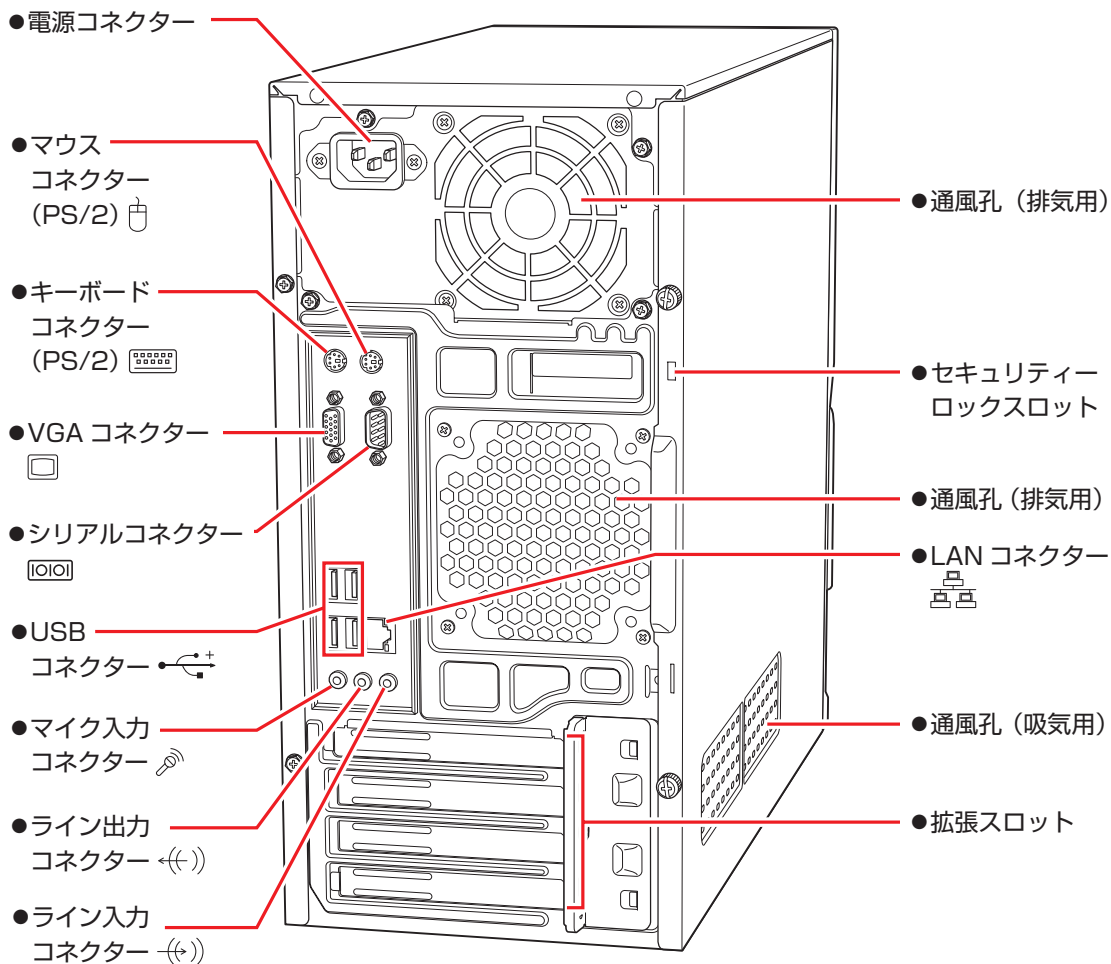
本機の仕様やマニュアルの表記方法などについて説明します。

各部の名称

本体前面

●光ディスクドライブ
●光ディスクドライブ
アクセスランプ
●光ディスクドライブ
イジェクトホール
●光ディスクドライブ
イジェクトボタン
●5.25 型
ドライブベイ
●3.5 型
ドライブベイ
●USB コネクター
●ヘッドホン出力
コネクター
●マイク入力
コネクター
●電源スイッチ /
電源ランプ
●通風孔
（吸気用）
●HDD アクセス
ランプ

本体背面

●電源コネクター
●マウス
コネクター
(PS/2)
●キーボード
コネクター
(PS/2)
●VGA コネクター
●シリアルコネクター
●USB
コネクター
●マイク入力
コネクター
●ライン出力
コネクター
●ライン入力
コネクター
●通風孔（排気用）
●セキュリティー
ロックスロット
●通風孔（排気用）
●LAN コネクター
●通風孔（吸気用）
●拡張スロット

添付されているソフトウェア

本機に添付されているソフトウェアについて説明します。

表中記号の見方

	ソフトウェアのインストール用データは添付の DVD または CD に収録されています。
	ソフトウェアのインストール用データは HDD の「消去禁止領域」に収録されています。この領域を削除すると再インストールができなくなります。「消去禁止領域」は、絶対に削除しないでください。

消去禁止領域に収録されているソフトウェアのバックアップ

書き込み機能のある光ディスクドライブを搭載している場合、HDD の「消去禁止領域」に収録されているソフトウェアを、CD にバックアップすることができます。

「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］－「ユーザーズマニュアル補足編」－「消去禁止領域のデータをバックアップする」

本機にインストールされているソフトウェア

次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされています。

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
●Windows 7 本機のオペレーティングシステム（OS）です。	Windows 7 リカバリー DVD
●Windows XP Mode（Windows 7 Ultimate/Professional のみ） Windows 7 上で Windows XP を起動し、Windows XP のアプリケーションを動作させるための機能です。	
●リカバリーツール HDD の消去禁止領域に収録されている本体ドライバーやソフトウェアを再インストールするためのプログラムです。	リカバリーツール CD
●本体ドライバー	消去禁止領域
• チップセットドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。	
• ビデオドライバー Windows を高解像度・多色で表示するためのドライバーです。	
• サウンドドライバー 音を鳴らしたり、録音するためのドライバーです。	
• ネットワークドライバー ネットワーク機能（有線 LAN）を使用するためのドライバーです。	
• Java2 Runtime Environment Java アプリケーションを実行するためのソフトウェアです。	
• PC お役立ちナビ コンピューターの情報を簡単に検索できるサポートツールです。 システム診断ツールも含まれています。	

本機にインストールされているソフトウェア	インストール用データの収録場所
●Adobe Reader PDF（Portable Document Format）形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。	消去禁止領域
●Windows Live Suite 「Windows Live メール」など、複数のソフトウェアを含むパッケージです。	
●マカフィー・PC セキュリティセンター 90 日期間限定版 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティーソフトウェアです。危険なサイトへのアクセスを防ぐ Web セーフティーツール「マカフィー・サイトアドバイザプラス」も含まれています。 購入時の選択によっては、インストールされていません。	
●WinDVD（添付時） DVD VIDEO を再生するためのソフトウェアです。	
●Nero 9 Essentials（書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時） 光ディスクメディアに書き込みを行うためのソフトウェアです。	

必要に応じてインストールするソフトウェア

次のソフトウェアは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じてインストールしてください。

必要に応じてインストールするソフトウェア	インストール用データの収録場所
●WDLC フォトガジェット デスクトップ上で写真を閲覧・管理するためのソフトウェアです。Windows 7 Home Premium の場合は、購入時にインストールされています。	消去禁止領域
●i －フィルター 5　30 日版* インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングソフトウェアです。	
●ATOK 無償試用版（30 日間）* 日本語変換に優れた、日本語入力システムです。	—

*購入時は、「初期設定ツール」からインストールすることができます。

CD から起動するソフトウェア

次のソフトウェアは、CD から起動して実行します。インストールは必要ありません。

p.79「システム診断ツールを使う」

CD から起動するソフトウェア	ソフトウェアの収録場所
●システム診断ツール 本機の調子が悪いときにシステム診断を行うためのツールです。HDD 内のデータを消去することもできます。	リカバリーツール CD

機能仕様一覧

型番		MT9000
CPU	プロセッサー	購入時の選択による
	ソケット	LGA775 Socket
チップセット		インテル G41 Express
BIOS		AMI BIOS
メイン メモリー	メモリー	PC3-10600（DDR3-1333 SDRAM）を使用して最大 4GB まで搭載可能（システム上利用できるのは約 3GB まで）
	スロット	DIMM スロット（240 ピン）× 2（同容量 2 枚 1 組で使用の場合、デュアルチャネルで動作）
ビデオ機能	コントローラー	インテル G41 Express チップセット内蔵 3D グラフィックス
	メモリー（メインメモリーと共用）	メインメモリー 1GB 時最大 302MB、メインメモリー 2GB 時最大 814MB、メインメモリー 4GB 時最大 1582MB
	表示解像度（最大）＊[1]	1600 × 1200、1920 × 1200（ワイドディスプレイ接続時のみ）True Color 32 ビット（約 1,677 万色）
HDD		シリアルATA300MB/s対応 3.5型HDD（容量、台数は購入時の選択による）
光ディスクドライブ		シリアル ATA 対応 5.25 型光ディスクドライブ（種類･台数は購入時の選択による）
サウンド機能		インテル ハイ･デフィニション･オーディオ対応 Realtek製 ALC662 コントローラー
ネットワーク機能		1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応 インテル製 82573L コントローラー
マウス / キーボード		購入時の選択による
インタフェース	USB	8（前面× 4、背面× 4）：USB2.0
	LAN	1：RJ-45
	サウンド	前面：ヘッドホン出力× 1、マイク入力× 1 背面：ライン入力× 1、ライン出力× 1、マイク入力× 1
	ディスプレイ	1：VGA ミニ D-SUB 15 ピン
	キーボード	1：PS/2 互換 ミニ DIN 6 ピン
	マウス	1：PS/2 互換 ミニ DIN 6 ピン
	シリアル	1：D-SUB 9 ピン
	パラレル（オプション）	1：D-SUB 25 ピン
ドライブベイ	5.25 型ドライブベイ	2＊[2]
	3.5 型ドライブベイ	3＊[2]
拡張スロット	PCI Express x16	1：ボード長 198mm まで搭載可能
	PCI 2.2	3：ボード長 312mm（フルサイズ）まで搭載可能
外形寸法（幅×奥行×高さ）		170 × 403 × 362mm（突起部を除く）
質量		約 7.6kg（基本構成時）
電源		AC100V ± 10%（50/60Hz） 容量：300W
消費電力（最大定格出力時）		375W
動作環境		動作温度：10 ～ 35℃、動作湿度：20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）

＊[1] 本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度であり、接続するディスプレイの仕様によっては表示できない場合があります。

＊[2] シリアル ATA 仕様の HDD/ 光ディスクドライブは、合わせて 4 台までの接続となります。

マニュアルの読み方

本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。CPU の種類・メモリー容量・光ディスクドライブなど、選択された仕様に合わせて、お客様オリジナルのコンピューターとして組み立て、納品されています。

本書で記載しているコンピューターの製品仕様

本書では特に記載がない限り、下記の製品仕様で説明を行っています。お客様が購入された製品の仕様が下記と異なる場合、それらの使用方法やドライバーのインストール方法などは、購入時に選択された各装置のマニュアルを参照してください。

メモリー	：1 組（2 枚）
HDD	：1 台
光ディスクドライブ	：1 台
ディスプレイ機能	：マザーボードの機能を使用
ネットワーク機能	：マザーボードの機能を使用
サウンド機能	：マザーボードの機能を使用

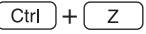
仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、『ユーザーズマニュアル』（本書）とは別に提供されている場合があります。
お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別冊や電子マニュアルなどの形式で提供されていますので、ご確認ください。

●本製品に同梱されている別冊マニュアル

●CD-ROM などに収録されている電子マニュアル

●「PC お役立ちナビ」－［マニュアルびゅーわ］に収録されている電子マニュアル

マニュアル中の表記

安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

制限	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
参考	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
1 2	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
▮▮▮▮▶	手順が次ページに続くことを示します。
Ctrl	[ ] で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。 [↵] は Enter キーを表します。また、[N] は [N み] のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。
Ctrl + Z	＋の前のキーを押したまま＋の後のキーを押します。 この例では、[Ctrl] を押したまま [Z] を押します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
別冊	別冊子を示します。
『　』	冊子の名称を示します。 例）『サポート・サービスのご案内』
	サポートツール「PC お役立ちナビ」を示します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
FD	フロッピーディスク
FDD	フロッピーディスクドライブ
光ディスクメディア	CD メディア、DVD メディア、Blu-ray Disc メディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称

オペレーティングシステム（OS）に関する表記

本書では、オペレーティングシステム（OS）の名称を次のように略して表記します。

Windows 7	Windows® 7 Ultimate Windows® 7 Professional Windows® 7 Home Premium

HDD 容量の記載

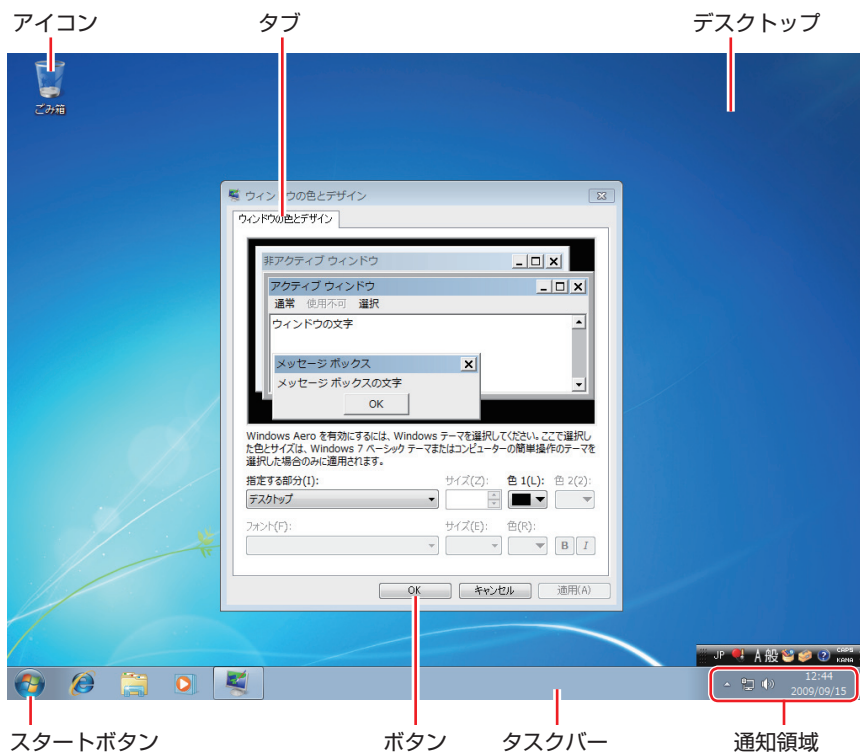
本書では、HDD 容量を 1GB（ギガバイト）=1000MB として記載しています。

メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB（ギガバイト）=1024MB として記載しています。

Windows の画面表示に関する記載方法

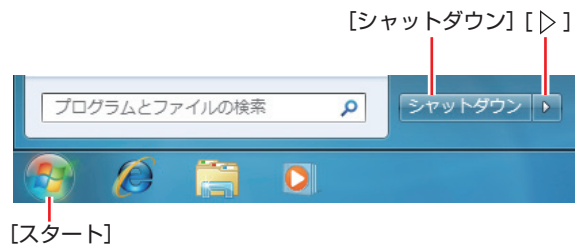
デスクトップ画面

本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載しています。

ボタン

ボタンは［ ］で囲んで記載しています。

例） OK ：[OK]

スタートメニュー

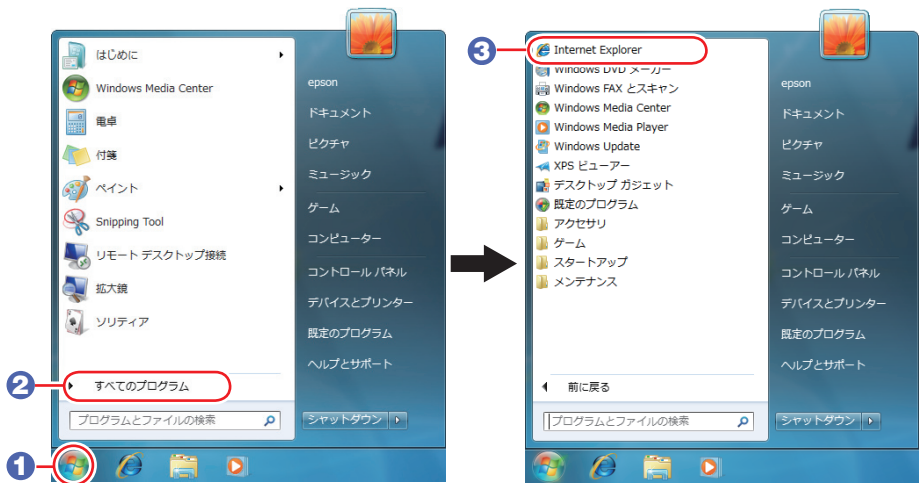
スタートメニューのボタン類は、次のように記載しています。

画面操作

本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載しています。

●記載例

［スタート］ ー「すべてのプログラム」ー「Internet Explorer」をクリックします。

●実際の操作

1. ［スタート］をクリックします。
2. 表示されたメニューから「すべてのプログラム」をクリックします。
3. 表示されたメニューから「Internet Explorer」をクリックします。

※表示される項目は、システム構成によって異なります。

コントロールパネル

本書では、コントロールパネルの表示が、「カテゴリ」であることを前提に記載しています。

<表示方法：カテゴリ>

ユーザーサポートページ

当社では、コンピューターを安心してお使いいただけるよう、ホームページ上で各種サポート情報を提供しています。

http://www.epsondirect.co.jp/support/

※「エプソンダイレクトサポート」で検索も可

＜画面はイメージです＞

FAQ Search

お使いのコンピューターの型番 /OS、製造番号から、トラブル解決方法や製品仕様などを検索できます。豊富に情報を掲載しておりますので、お困りの際、まずはこちらをご覧ください。

FAQ ランキング

製品ごとに参照される機会の多い FAQ を、各「質問カテゴリー」でトップ 10 表示します。

ソフトウェアダウンロード

最新の BIOS やドライバー、ユーザーズマニュアルなどをダウンロードすることができます。

Web 修理受付

Web フォームから、簡単に修理をお申し込みいただけます。

使用限定について

本製品は、OA 機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。
本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。
本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24 時間稼動システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

有寿命部品について

当社のコンピューターには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日間のご使用で約 5 年です。
上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。
電源の入力波形は、正弦波のみをサポートしています。

パソコン回収について

当社では、不要になったパソコンの回収・再資源化を行っています。
PC リサイクルマーク付きの当社製パソコンおよびディスプレイは、ご家庭から廃棄する場合、無償で回収・再資源化いたします。
パソコン回収の詳細は下記ホームページをご覧ください。

http://shop.epson.jp/pcrecycle/

著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販の CD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を超えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。
また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Live、Internet Explorer、Hotmail、Silverlight、MSN、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- PS/2 は International Business Machines の登録商標です。
- McAfee およびマカフィーは、米国法人 McAfee,Inc. またはその関連会社の米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

そのほかの社名、製品名は、一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。